平成２２年度

事業報告書

社会福祉法人　枚方市社会福祉協議会

《目　　次》

【一般会計】

経理区分名	事業報告（ページ）
１．法人運営事業	３
２．ボランティア活動推進事業	１７
３．小地域ネットワーク活動推進事業	２１
４．助成事業	２５
５．献血推進事業	２９
６．福祉サービス利用援助事業	３１
７．精神保健福祉推進事業	３２
８．生活福祉資金貸付事業	３４
９．住宅改造助成調査事業	３５
10. 住宅手当緊急特別措置事業	３６
11. 共同募金配分金事業	３６
12. 居宅介護等事業	３７
13. 移動支援事業	４０
14. 総合福祉センター管理運営事業	４２
15. くすの木園（生活介護）管理運営事業	４４
16. 共同生活援助・介護事業	４８
17. 障害者活動支援事業	４８
18. 障害児等療育支援事業	４９
19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業	５０
20. 地域包括支援センター事業（第１圏域）	５０
地域包括支援センター事業（第２圏域）	５０
21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	５４
22. 地域活動支援センター事業	５９
23. 乳児家庭全戸訪問事業	６２

【特別会計】

経理区分名	事業報告（ページ）
24. 総合福祉会館管理運営事業	６４

平成２２年度
社会福祉法人　枚方市社会福祉協議会
事　業　報　告

平成２２年度も、前年度に引き続き、事業計画に示したすべての事業について、鋭意取り組みました。しかし、平成２０年９月のリーマンショックがきっかけになった世界同時不況により被った本会の資産損失について、平成２２年５月に新聞報道されたことにより、枚方市議会をはじめとする、本会に関わりのある各種団体及び市民の皆さまから、多くの質問や意見が寄せられました。本件に関しては、法人として重く受け止めるとともに、説明責任と今後の取り組みを示す必要性から、前年度に完成した「経営戦略プログラム（改訂版）」を凍結しました。その上で、第三者機関による経営診断を受け、枚方市長及び枚方市議会あてに、「報告書（枚方市社会福祉協議会の着実かつ創造的な経営に向けて）」を提出し、本件に関する一連の総括を行いました。この報告書に従い、平成２３年度中に現在凍結中の「経営戦略プログラム（改訂版）」に代わる、新たな経営計画を策定する予定としています。

各課の動きとして、まず総務課は、理事会・評議員会・理事部会の実施や財務、広報等、法人経営の全般に関わることに加えて各種事業も行いました。まず、枚方・交野地区保護司会の運営支援を行い、その一環として、「第６０回社会を明るくする運動」の実施を含めた活動全般について事務局として関わりました。また、第２のセーフティネットとして、平成２１年度から実施している総合支援資金貸付、臨時特例つなぎ資金貸付、住宅手当緊急特別措置事業には、なかなか回復しない経済状況の中、多くの相談者が訪れました。また、生活福祉資金貸付事業では、特に教育支援資金の相談件数の増加が顕著でした。その他、善意銀行や赤い羽根共同募金の地区募金会の運営等に取り組みました。

地域福祉課は、平成２２年５月に策定した「第４次地域福祉活動計画」に従い、社協活動の中心である、各種地域福祉関係事業に積極的に取り組みました。特にＣＳＷ（コミュニティソーシャルワーカー）配置促進事業では、地域に出向く出張相談の回数増加など、積極的に地域における個別相談窓口としての役割を果たしました。小地域ネットワーク活動では、校区福祉委員会により、高齢者から子育て世帯まで、地域に住むすべての人を対象に様々な取り組みを行いました。市内１３か所に設置されている高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）の内、第１・２圏域の運営も継続して行っています。また、自殺予防事業の電話相談「ひらかたいのちのホットライン」の啓発も行いました。１０月からは、新たに市からの委託事業として、生後４か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問する「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」をスタートしました。

ボランティアセンター部門では、毎年実施している災害ボランティアセンター設置訓練を、北河内地区の他市社協職員も加わり、より積極的に実施しました。災害時要援護者避難支援事業では、登録者及び支援ボランティアの受付、啓発を行いました。

在宅福祉課は、前年に引き続き、居宅介護事業、移動支援事業、知的障害者施設管理運営事業、共同生活介護事業、相談支援事業など、各種障害福祉サービス、高齢福祉サービスを実施しました。居宅介護事業、くすの木園、ケアホームの各事業については、より良いサービスの提供を目指して福祉サービス第三者評価を受け、比較的高い評価を得ることができました。この結果は、既に公開されています。また、くすの木園は、２３年１月から旧法の知的障害者通所更生施設から、障害者自立支援法に基づく生活介護事業所に移行し、新たな体制で運営を行っています。

１．法人運営事業

（1）組織会員状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的として、平成３年に導入した組織会員は、本会の基本的な構成員となり、事業運営に参画する団体・機関である。

◎組織会員数　　１６１団体（平成２３年３月３１日現在）

（2）社協会員状況

７月を会員募集強化月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳細	
住民会員	２９，８３２人	３２，２７６口	１６，１３８，０００円
特別住民会員	３人	会費額	６０，０００円
法人賛助会員	１１８法人	１３０口	１，３００，０００円
		福祉協力金	３，９０７，９５５円
		総　計	２１，４０５，９５５円

（3）理事会開催状況

月日	場所	内容	出席数
5／17	ラポールひらかた 研修室２	・資産運用状況について	９人
5／25	ラポールひらかた 研修室２	・定款の変更について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について ・平成２１年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について	１１人
7／28	ラポールひらかた 研修室２	・各部会の報告について ・財務分析・経営診断及び第三者評価の実施について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第１回）について ・くすの木園の新法移行について ・枚方市立総合福祉会館の指定管理者応募について ・住民会員募集の現状報告について	１４人
9／29	ラポールひらかた 研修室２	・各部会の報告について ・定款の一部改正について ・定款認可に伴う諸規則の改正について ・育児休業等に関する規則の一部改正について ・介護休業等に関する規則の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・れいんぼう（共同生活介護、共同生活援助）運営規程の一部改正について ・評議員委嘱の同意について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第２回）及び特別会計収入支出補正予算（第１回）について ・資産運用状況について	１４人
12／10	ラポールひらかた 研修室２	・各部会の報告について ・住民会員募集の状況と今後の対応について ・給与に関する規則の一部改正について	１２人

		・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の制定について ・評議員委嘱の同意について ・理事候補者の評議員会提出について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第３回）について ・福祉サービス第三者評価の結果報告について ・経営診断の調査結果報告について	
1／18	ラポールひらかた研修室２	・副会長の選任について ・知的障害者通所更生施設運営規程の廃止について ・枚方市社会福祉協議会６０周年記念事業の実施について ・福祉人権相談事業の取り扱いについて ・組織会員研修の実施について	１３人
3／24	ラポールひらかた研修室２	・各部会の報告について ・経理規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・訪問介護事業運営規程の一部改正について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第４回）について ・平成２３年度歳末たすけあい募金配分計画について ・平成２３年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・報告書「枚方市社会福祉協議会の着実かつ創造的な経営に向けて」（案）について ・基金・積立金の運用状況について ・理事・監事、評議員の改選について	１４人

（4）部会開催状況

①法人経営部会

月 日	場　所	内　　容	出席数
7／6	ラポールひらかた研修室２	・資産損失に伴う今後の経営方針について	５人
7／23	ラポールひらかた集会室	・第三者による経営診断と今後の取り組みについて ①財務分析・経営診断について ②自立支援事業等における第三者評価について	６人
9／30	ラポールひらかた研修室１	・経営診断及び第三者評価の実施について（中間報告） ①事務局からの経過報告 ②経営診断中間報告 有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　眞岩氏	６人
11／29	ラポールひらかた特別会議室２	・経営診断及び第三者評価の報告について ①第三者評価報告書 有限会社リファレンス　事務局より報告 ②経営診断報告書 有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　眞岩氏 ・今後の検討方法について	６人

1／28	ラポールひらかた 集会室	・経営診断及び第三者評価からの課題整理について ・報告書（案）について ・福祉サービス第三者評価結果の公表について	６人
2／23	ラポールひらかた 特別会議室	・報告書（案）について	７人
3／16	ラポールひらかた 研修室４	・報告書（案）について 検討のポイント ○今後の基金・積立金のあり方について ○ガバナンス体制について ・今後の計画策定体制について	７人

②地域福祉活動部会

月 日	場　所	内　　容	出席数
9／17	ラポールひらかた 研修室２	・乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）について ・住民会員募集と今後の対応について	５人
10／5	ラポールひらかた 特別会議室２	・住民会員募集と今後の対応について	６人

③在宅福祉サービス部会

月 日	場　所	内　　容	出席数
7／20	ラポールひらかた 集会室	・くすの木園の新法移行について ・在宅福祉課事業の現状について	５人

（5）評議員会開催状況

月 日	場　所	内　　容	出席数
5／17	ラポールひらかた 大研修室	・資産運用状況について ※出席者数が過半数に達せず評議員会が非成立のため、報告会として実施。	１８人
5／28	ラポールひらかた 研修室１	・定款の一部改正について ・理事の選任について ・平成２１年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について	２９人
8／10	ラポールひらかた 研修室１	・財務分析・経営診断及び第三者評価の実施について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第１回）について ・くすの木園の新法移行について ・枚方市立総合福祉会館の指定管理者応募について ・住民会員募集の現状報告について	２８人
9／30	ラポールひらかた 研修室１	・定款の一部改正について ・定款認可に伴う諸規則の改正について ・育児休業等に関する規則の一部改正について ・介護休業等に関する規則の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・れいんぼう（共同生活介護、共同生活援助）運営規程の一部改正について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第２回）及び特別会計収入支出補正予算（第１回）について	２４人

		・乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会住民会員募集の状況と今後の対応について	
12／17	ラポールひらかた研修室１	・住民会員募集の状況と今後の対応について ・給与に関する規則の改正について ・理事の選任について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の制定について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第３回）について 【福祉サービス第三者評価・経営診断調査結果の理事・評議員報告会】 ①福祉サービス第三者評価の結果報告 有限会社リファレンス　評価事業部　川原氏 ②経営診断の調査結果報告 有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　眞岩氏	２９人
3／31	ラポールひらかた研修室１	・経理規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・訪問介護事業運営規程の一部改正について ・知的障害者通所更生施設運営規程の廃止について ・平成２２年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第４回）について ・平成２３年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・理事・監事、評議員会の改選について	２３人

（6）第４次地域福祉活動計画

①　ふくしのまちづくり円卓会議

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざし、枚方市の地域福祉をより一層推進するため、平成２２年５月に「第４次地域福祉活動計画」を策定し、計画期間を平成２２年度から平成２６年度までの５年間とした。計画推進期間において計画の推進・評価・進行管理を行うため、「ふくしのまちづくり円卓会議」を設置した。

円卓会議の開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数
1／14	ラポールひらかた研修室１	・座長、副座長の選出について ・「第４次地域福祉活動計画」の概要及び進捗状況について ・今後の進め方について	１４人

②　校区ふくしのまちづくり計画

市内４５校区福祉委員会は、地域福祉の推進を目的に、平成１６年度から平成１９年度までの４ヶ年にわたり、順次「校区ふくしのまちづくり計画」の策定を行った。５ヶ年の計画期間の最終年度を迎えた校区は、計画の推進状況のふり返りを行うとともに、住民アンケートや懇談会などを通じて、「第２次校区ふくしのまちづくり計画」の策定に取り組んだ。今年度は、１１校区が最終年度を迎え、新たな計画づくりを行った。

※第２次計画策定校区：１１校区　北エリア（殿一・殿二・招提）、中エリア（枚方・山田東・交北）
南エリア（桜丘・桜丘北・開成）、東エリア（津田南・氷室）

③合同懇談会

月　日	場　　所	内　　容	出席数
6／28	ラポールひらかた大研修室	第２次計画を平成２１年度に策定した校区及び平成２２年度に策定予定校区（全２３校区）を対象に、各校区の計画の進捗状況をふり返り、情報共有・意見交換を行うと共に、新たな計画の進行管理について話し合った。 ・平成２１年度策定校区より報告 ・情報共有、意見交換 ・まとめ（助言者：佛教大学社会福祉学部准教授 所めぐみ氏）	６６人

（７）広報活動

＊社協だよりの発行

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
１０８	６／１	１８１，５００	１０９	９／１	１８１，５００
１１０	１２／１	１８１，９５０	１１１	３／１	１８１，９５０

※年４回発行、「広報ひらかた」に綴じ込み、市内全戸配布

＊社協紹介リーフレットの作成

社協事業を市民にわかりやすくＰＲするための媒体として、紹介リーフレットを１５００部作成し配布した。

＊社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報の発信を積極的に行った。

（アクセス件数　１９，１３５アクセス：H22.4.1～H23.3.31）

（８）枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域における民生委員・児童委員の円滑な活動を支えることを目的に民生委員児童委員協議会の運営の支援を行った。今年度は、市民の安心安全なまちづくりを進めるため、枚方市と協定を結び、日頃の見守り活動を通じて、要援護高齢者や障がいのある人を対象として「ひらかた安心カプセル」を配付する取り組みを始めた。また、子育て支援活動の一環として、離乳食づくりを取り入れた子育てサロン「ゆりかご」を継続して行い、参加者から好評であった。さらに年間を通じて、定例会議の開催、各種の研修の実施等を通じて、情報提供やスキルアップを図り、民生委員・児童委員の活動支援を行った。

実　施　日	内　　容
４月　６日	新任民生委員・児童委員委嘱状伝達式、研修会
６日	役員会
６日	子育てサロン「ゆりかご」（牧野・西牧野）
８日	役員会・校区委員長会
２３日	全民生委員・児童委員、主任児童委員 全体研修会（枚方市主催）
２８日	会計監査
１６～２８日	地区委員会

５月１１日	子育てサロン「ゆりかご」（明倫・中宮・中宮北）　参加者（１１組）
１３日	「民生委員・児童委員の日」啓発活動 内容：京阪枚方市駅前・樟葉駅前・JR長尾駅前において、通行人に啓発用救急絆創膏 ３，５００個配布。　参加者（５１人）
１３日	役員会・校区委員長会
１４日	第６２回大阪府民生委員・児童委員大会　参加者（５４人）
１８日	府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会（第１日）
２５日	府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会（第２日）
３１日	役員会
２２～２８日	地区委員会
６月　１日	子育てサロン「ゆりかご」（開成・山之上）　参加者（９組）
１０～１１日	役員管外研修「日本盲導犬総合センター」　参加者（４７人）
１８～２８日	地区委員会
７月　１日	社会を明るくする運動街頭キャンペーン（パレード・式典　参加４９人）
２日	児童虐待問題研修会（児童福祉協会中央支部主催）
６日	子育てサロン「ゆりかご」（招提・殿二・平野）　参加者（１５組）
８日	役員会・校区委員長会
１３～２８日	地区委員会
８月　４日	枚方市長との意見交換会
６日	夏休み児童映画大会「カールじいさんの空飛ぶ家」（２回上映 入場者数延べ１，９５０人）
９月　７日	子育てサロン「ゆりかご」（津田・津田南・氷室）　参加者（１８組）
９日	役員会・校区委員長会
１７～３０日	地区委員会
１０月　５日	子育てサロン「ゆりかご」（高陵・磯島）　参加者（１５組）
１４日	役員会・校区委員長会
１５日	河北ブロック中堅民生委員・児童委員研修会
２８～２９日	全国民児協大会（島根県）
２３～２８日	地区委員会
１１月　９日	子育てサロン「ゆりかご」（春日・東香里・香陽）　参加者（２０組）
１０日	役員会
１１日	役員会・校区委員長会
１９日	地区委員長研修（人権研修「鳴門市ドイツ館」）　参加（２１人）
２２日	枚方市とひらかた安心カプセル配布事業に関する協定書を締結
２４日	大阪府社会福祉大会
１６～２７日	地区委員会
１２月　１日	民生委員・児童委員委嘱状伝達式（一斉改選）、研修会
３日	民生委員・児童委員退任式
３日	役員会
７日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉・樟葉北）　参加者（１３組）
９日	役員会・校区委員長会
２２・２４日	全民生委員・児童委員全体研修会（枚方市主催）
１６～２７日	地区委員会

１月　５日	府民児協新年互礼会
１２日	役員会、役員新年のつどい
２５日	府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会（第１日）
２８日	府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会（第１日）
３１日	役員会、河北ブロック民生委員児童委員協議会連絡会（守口市）
２月　１日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉南・樟葉西・船橋）　参加者（１１組）
４日	役員会
１０日	役員会・校区委員長会
１８～２８日	地区委員会
３月　１日	子育てサロン「ゆりかご」（さだ・さだ東・さだ西）　参加者（８組）
１０日	役員会・校区委員長会
２５日	総会、全民生委員・児童委員研修会　出席（４００人）

部会・主任児童委員連絡会活動状況（役員会・幹事会等は除く）

ア）高齢者福祉部会

５月１１日　　研修「高齢者の交通安全について」枚方警察署
６月　１日　　研修「悪徳商法について学ぶ」枚方市消費生活センター
７月　６日　　管外研修会「積水ハウス総合住宅研究所納得工房」
９月　７日　　研修「成年後見と遺言について 」
成年後見センター・リーガルサポート大阪支部北ブロック
司法書士　川島　吉博　氏
１０月　５日　　枚方市ひとり暮らし老人会連絡会との交流会（１０４人）
講演「高齢者の交通安全について」枚方警察署
１１月　２日　　施設見学「特別養護老人ホーム美郷会」
３月　１日　　研修「高齢者体験キットを使用して高齢者の身体状況を知る」
枚方市立保健センター

イ）広報部会

４月　１日　　「民児協ひらかた」第１１２号発行（編集会議６回開催）
８月　１日　　「民児協ひらかた」第１１３号発行（編集会議７回開催）
９月１５日　　施設見学「廣済堂印刷所」
１２月　１日　　「民児協ひらかた」第１１４号発行（編集会議７回開催）
３月３日、１０日１６日　大阪府民児協連機関紙講習会

ウ）生活福祉部会

４月　２日　　勉強会「生活福祉資金貸付制度と民生委員の役割」
５月　７日　　事例研究
６月１７日　　研修会「生活福祉資金貸付制度について」大阪府社会福祉協議会福祉資金部
９月　３日　　研修「地域包括支援センターの活動について」
１０月　１日　　勉強会「ビデオ学習」
１１月　２日　　管外研修「京都少年鑑別所」
２月　５日　　出前講座「悪質商法について」　枚方市消費生活センター
３月　４日　　勉強会「社会貢献制度について」大阪府社会福祉協議会社会貢献推進室

エ）児童福祉部会

年間通じて「育児教室」「ひよこ（未熟児）教室」に参加協力
４月　７日　　勉強会「ひよこ（未熟児）教室について」　大阪府枚方保健所

６月　２日　　管外研修「乳児院がーでんえる・児童養護施設がーでんろい」
８月　６日　　「夏休み児童映画大会」において児童との交流活動（手遊び歌）
１０月２１日　　他市交流　「吹田市民児協児童部会との交流会」
２月　２日　　勉強会「ひよこ（未熟児）教室について」枚方保健所
３月　２日　　勉強会「育児教室について」　枚方市子育て支援室・枚方市立保健センター

オ）障がい者福祉部会
４月　１日　　勉強会「聴覚障がい者を取り巻く環境と制度について」枚方市障害福祉室
５月　６日　　視察研修「わらしべ園・第２わらしべ園」
６月　３日　　視察研修「関西記念病院」
７月　１日　　勉強会「発達障がいの理解について」
枚方市立小学校　心の教室相談員　近藤善枝 氏
９月　２日　　管外研修「金剛福祉センター」
１０月１８日　　研修会「発達障がいの理解について」
ＹＣＣこども教育研究所　主任研究員　近藤春洋 氏
２月２３日　　研修会「精神障がい者の地域ケアの鍵となる住民力・理解力」
大阪人間科学大学　講師　吉池毅志 氏
３月　３日　　勉強会「障害者自立支援法について」枚方市障害福祉室

カ）主任児童委員連絡会
５月１０日　　事例研修
５月１７日　　第１回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議代表者会議
５月２８日　　府民児協主任児童委員連絡会
６月　７日　　勉強会「ＤＶの事例研修」
７月　５日　　第１回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議
７月１２日　　管外研修「大阪府立女性自立支援センター」
７月３０日　　北ブロック研修「楠葉野保育所との懇談会」
９月　６日　　研修会「ＤＶ家庭における児童について」
大阪府女性相談センター　企画調整総括主査　富田潤子 氏
９月１０日　　中央ブロック研修「交野支援学校」
９月１３日　　第２回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議代表者会議
１０月　４日　　東ブロック研修「パネルシアター」
１０月２５日　　南ブロック研修「滋賀県立近江学園」
１１月　１日　　第２回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議
２月２１日　　第３回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議

（9）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。社資増強運動をはじめ、中国青海省地震救援金募金活動、ニュージーランド地震救援金募金活動、東日本大震災義援金募金活動など国内外で発生した大災害被災地への支援の取り組みを行った。また、健康生活講習支援員の養成や救急法の普及を目的とした講習会の開催や災害時を想定した炊き出し訓練の実施、献血の啓発事業などを実施し、広く市民に赤十字活動への参加協力が得られ、赤十字運動の推進を図ることができた。

①本　団
・役員会開催状況
4／8、6／2、9／13、10／8、11／29、1／19、2／25、3／4　連合分団長会議の前に開催

月 日	場 所	内 容	出席数
4／1～ 3／31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字本来の趣旨の周知を図るため社資募集(募金)を実施。 戸別募金　１３，８７７，０８９円 個人募金　３，０２４，１３９円 利　息　９４円 合　計　１６，９０１，３２２円	４７４ 分団
4／12	ラポールひらかた 大研修室	１．平成２１年度事業報告及び平成２１年度決算報告について ２．平成２１年度監査報告について ３．平成２１年度社資募集(募金)実績額の報告について ４．平成２２年度社資募集(募金)について	４７人
4／19～ 5／31	枚方市内 ２９ヶ所	本年４月１４日に中国・青海省で発生したマグニチュード7.1の大地震の救援金の募金箱を市内、市役所他、生涯学習センター等に設置し、５４，０４１円を赤十字社を通じ、中国・青海省に送金した。	
6／15	ラポールひらかた 研修室１	１．役員（会計）の選出について ２．平成２２年度社資募集(募金)にむけて ３．年間予定について ５．赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について	３５人
9／17	ラポールひらかた 研修室１	連合分団長研修会 「災害時における地域復興支援」について を日本赤十字社大阪府支部より講師を招いて実施	２９人
9／21～ 11／2	ラポールひらかた 研修室１	一般市民を対象に日常生活における介護の方法や家庭内における看護について赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会を実施。また、全課程（６日間）を修了した１７人のうち、４人が家庭看護部会に入会した。	１７人
10／15	ラポールひらかた 研修室１	１．平成２２年度社資募集(募金)の中間報告について ２．地域活動助成金（社資募集実績額）について ３．日赤奉仕団大会について ４．婦人部会炊き出し訓練実施について	２２人
11／16	ホテル ニューオータニ	日本赤十字社大阪府支部の社資功労、業務功労等、各有功章・感謝状を授与式の参加。	４人
11／30	ラポールひらかた 大研修室	銀色有功章などを含む、３５人が日本赤十字社大阪府支部枚方地区地区長から表彰状を授与された。合わせて研修会を実施。 「気をつけよう生活習慣病」高槻赤十字病院 糖尿病・生活習慣病課　部長　金子　至寿佳　氏	９１人
2／8	ラポールひらかた 研修室１	一般市民を対象に日赤救急法の普及のため、日赤大阪府支部より救急法指導員を招き実施。	３０人
2／25	ラポールひらかた 研修室１	北河内ブロック赤十字奉仕団連絡協議会総会 １．平成２２年度会計(決算予定)報告及び決算繰越金の使用方法について ２．平成２３年度予算(案)について ３．平成２３年度以降の幹事市と副幹事市(会計)について	２７人

2／24～ 3／25	枚方市内 ２９ヶ所	２月２２日にニュージーランドで発生した大地震の救援金の募金箱を市内、市役所他、生涯学習市民センター、社会福祉協議会出先機関等２９ヶ所に設置。街頭募金活動も実施し、１９２，１２４円を赤十字社に送金した。	
3／8	ラポールひらかた 研修室１	１．平成２２年度奉仕団大会の報告について ２．平成２２年度社資募集の実績について ３．平成２２年度予算及び決算見込について ４．平成２３年度事業計画(案)及び予算(案)について ５．平成２３年度社資募集にむけて ６．連合分団長就任承諾書について ７．枚方市赤十字奉仕団 60 周年記念事業実行委員の選出について	２６人
3／14～ 4／15	枚方市内 ２９ヶ所	３月１１日に東北地方太平洋沖で発生した大地震の義援金の募金箱を市内、市役所他、生涯学習市民センター、社会福祉協議会出先機関等２９ヶ所に設置。街頭募金活動も実施し、合計７２０，００７円を赤十字社に送金する。	

②部会活動状況（役員会・定例会等は除く）

ア）　婦人部会

月 日	場 所	内　　容	出席数
5／14	ラポールひらかた 研修室１	・校区婦人部会長の紹介 ・平成２２年度事業計画・予算について ・研修会（管内・管外）について ・今後の部会活動について	１７人
7／7	兵庫県伊丹市 日本レスキュー協会	災害発生時、状況に応じ迅速に支援活動が実践できるように、災害救助犬の様々な訓練の様子を視察。	３８人
10／6	ラポールひらかた 研修室１	・管外研修会の報告について ・研修会（講演会）の実施について ・炊き出し訓練の実施について	１８人
10／16	ラポールひらかた 日常生活訓練室・ 関西医大枚方病院構内	婦人部会研修会 被災した病院模擬患者の避難所に焦点をあて、食の不安の軽減を図ることを目的とし、災害時の炊き出し訓練を実施。	３２人
1／27	ラポールひらかた 大研修室	管内研修会 災害発生時、状況に応じた支援活動を行うため、枚方市婦人消防団を講師に招き、救命手当短期講習会を開催、ＡＥＤを用いた心肺蘇生法等を研修する。受講証を交付。	３７人
2／17	枚方市駅献血ルーム周辺	献血事業 冬場は、輸血用血液が不足するため、献血街頭キャンペーンを実施する。 （結果）２００ｍｌ　　３人 ４００ｍｌ　２０人 成分献血　　２９人　　合計５２人	２２人
2／17	ラポールひらかた 研修室１	・炊き出し訓練の報告について ・奉仕団大会の報告について	２３人

		・全体研修会の報告について ・平成２３年度事業計画・予算(案)について	

イ）家庭看護部会

月 日	場 所	事 業 内 容	出席数
5／25	枚方市駅周辺	平成２２年度赤十字社員増強運動に伴う、社資募集の街頭募金及び啓発活動を行う。 （募金総額）　　３４，０６１円	１９人
5／25	ラポールひらかた研修室１	勉強会 ・部会員全員が参加し学習と連携を図る。 ・実習内容：「赤十字救急法・包帯法」について （府支部より、講師を招き実施）	１９人
7／6	近畿地方整備局近畿技術事務所	枚方市山田池公園内にある、国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所を見学及び車いすでの交通バリアフリー比較体験の視察研修。	２１人
9／11	殿二小学校	地域より依頼を受け、「高齢者に起こりやすい怪我の予防と手当」をテーマに大阪府支部より講師を招き講習会を実施。 ・地域の参加者　　８５人	６人
11／7	春日小学校	地域より依頼を受け、部会で学んだ介護方法や応急手当など、簡単な項目について講習会を実施。 ・災害時の支援（車いす・応急手当） 　地域の参加者　　４３０人	１１人
11／13	ラポールひらかた研修室	第１３回ラポールふくしフェスティバル 「災害時支援講習・応急手当」「生活支援講習ビデオ公開」リュックポリを使っての応急手当） 　入場者数　　１９７人	１５人
11／30	北淡記念公園他	災害発生時、状況に応じ迅速に支援活動が実践できるように、学習と状況体験の機能を併せ持つ施設を視察。	３２人

＊参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習や災害時高齢者生活支援講習会、日赤救急法（短期）講習会などの講師へのサポートを行った。

（１０）枚方・交野地区保護司会の運営支援

平成２２年度より、枚方・交野地区保護司会と名称を変更した。１年を通して総会や理事会・定例会、また、保護司を対象としたケース研修会及び、更生保護女性会・ＢＢＳ会との合同研修会、管外研修について、運営支援を行った。また、７月を強化月間とする「第６０回社会を明るくする運動」時に枚方市コミュニティ連絡協議会に青色パトロール車を寄贈した。同運動については、実施委員会の運営から準備・開催まで、全面的に運営支援を行った。

月 日	場 所	内 容
4／ 2	ラポールひらかた特別会議室１	監査　「平成２１年度会計監査」
4／15	枚方市民会館第３会議室	理事会・総会　「両市の人事異動、平成２１年度事業報告・決算について、管外一泊研修について」

4／22	ラポールひらかた 研修室１	理事・広報部会　「第６０回社会を明るくする運動」
5／13	枚方市民会館 第１・２集会室	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 「第６０回社会を明るくする運動について」
5／15	枚方市民会館 第１・２集会室	理事会・定例会　「第６０回社会を明るくする運動」
6／10	交野市立保健福祉総合センター	第一期研修「生活環境の調整について」
7／ 1	枚方市民会館 大ホール	第６０回社会を明るくする運動 市役所周辺街頭パレード・式典、青色パトロール車贈呈式
7／22	交野市立保健福祉総合センター	第６０回社会を明るくする運動 枚方・交野地区更生保護大会講演会 テーマ「人間いつでもやり直せる　～覚せい剤やめますか それとも人間やめますか」 講師　弟子協会　牧師　金澤氏
8／19	ラポールひらかた 特別会議室	理事会　「大阪更生保護大会について、追悼式について、一日研修について」
	ラポールひらかた 大研修室	保護司会・更生保護女性会・ＢＢＳ合同研修会 テーマ「少年非行の現状」講師　守口少年サポートセンター　谷岡氏
9／16	交野市立保健福祉総合センター	保護司会追悼式 理事会・定例会「各部からの報告」
10／14	交野市立保健福祉総合センター	理事会「新任保護司の紹介・再任保護司の委嘱状伝達」 定例会　第二期研修「就労指導・支援　～無職対象者の処遇～」
10／28	ラポールひらかた 特別会議室１	新任保護司研修
11／18	ラポールひらかた 大研修室	理事会「新年総会について、第三期研修について」 定例会「各種表彰の伝達、再任保護司の委嘱状伝達」
11／25	管外一日研修	滋賀県高島市　高島地区保護司会との意見交換会
12／16	交野市立保健福祉総合センター	理事会「管外研修報告、新年総会について」
		第三期研修「面接について」
1／7	枚方仙亭	枚方・交野地区保護司会新年総会
2／17	交野市立保健福祉総合センター	理事会　「各部からの報告」 第四期研修　テーマ「少年犯罪を取材して」 講師　朝日新聞大阪本社　後藤氏 定例会　「新任保護司の紹介・再任保護司の委嘱状伝達・退任保護司のあいさつ」
2／26	ラポールひらかた 特別会議室２	理事会「平成２３年度事業計画・予算について、会則等の改正について」
3／19	ラポールひらかた 大研修室	理事会・定例会「会則等の一部改正について、平成23年度事業計画・予算について、役員の選出について」

○第６０回社会を明るくする運動

７月　１日　市役所周辺街頭パレード・式典　参加者４８７人

７月２３日　更生保護大会　参加者３９４人

作文コンテスト（小・中学生対象）応募１７９点

（１１）第３１回枚方ふれあいフェスティバル

『きずなをむすぶフェスティバル』をテーマに“障害のある人・ない人が共に手をとりあい、楽しく過ごしてもらえる”そんなふれあいの場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

（日　時）　平成２２年6月６日（日）午前１０時～午後４時
（場　所）　枚方市民会館大ホール・ 岡東中央公園一帯
（参加者）　約５，０００人
（主　催）　枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会
（後　援）　枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所
（内　容）　＊映画会（市民会館大ホール）
題　名「スノープリンス」～禁じられた恋のメロディ～
上映時間　１０時～１１時５５分、１２時２０分～１４時１５分、
１４時４０分～１６時３５分
＊特設ステージ
よさこい踊り、二胡演奏、踊り、車イスダンス、歌、バンド演奏、手話コーラス、その他
＊人形劇、ふれあいクッキー教室（市民会館）
＊野外テント等での催し
各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、その他
＊企画コーナー
パネル展示、造形教室（紙すき・木工）、腎バンク・アイバンクキャンペーン、車いす体験コーナー　他

（１２）第２２回枚方市健康福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『健康な　体と心が　未来を開く』をテーマに、市民の健康と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に、「枚方市健康福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

（日　時）　平成２２年１０月２４日（日）午前１０時～午後３時３０分
（場　所）　ラポールひらかた
（主　催）　枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、大阪府枚方保健所、枚方市、枚方市社会福祉協議会
（後　援）　枚方市教育委員会
（参加者）　２，６００人
（内　容）＊講演会「子どもの急病　そのときどうする？」関西医科大学　教授　金子 一成 氏
＊シンポジウム「お年寄りがかかりやすい病気」～目・耳について～
＊歯の検診コーナー、フッ素体験コーナー、8020 達成者表彰
＊からだと自然の恵み「薬草と絶滅危惧植物の展示」
＊歩くことからはじめよう「１万歩ウォーキング」
＊模擬店（福祉団体連絡会・地域共同作業所連絡会の加入団体が出店）
＊ボランティア相談コーナー＊人形劇（やなぎ劇団）
＊健康医療相談・各種検診・診断・測定など

（１３）善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書　（単位：円）

収入		支出		
前年度繰越金	５，５０２，４６９	指定預託	福祉施設団体等	４４９，５７８
一般預託	０			
指定預託	３４９，５７８			
預金利息	１，２８６			
計	５，８５３，３３３	計		４４９，５７８

収入・支出残金　５，４０３，７５５円 は、次年度へ繰り越し。

②善意銀行物品口座預託品目

ラーメン	６００食	切手	５７，２３０円
ティッシュ	１２０箱	洗剤等	４ヶ
タオル	１，４２６枚	車イス	５０台
石鹸	６６７個	赤外線補聴器システム	１式
マスク	１４，４００枚	その他　備品等	
マスク用消毒液	１箱		

③善意の橋渡し物品

ポータブルトイレ	１台	ギャッジベッド	２台
油圧式昇降機	１台		

2. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動に対する市民の関心は年々高まっており、活動分野は福祉をはじめ、保健医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。このような状況の中で、市内におけるボランティア活動の円滑な推進に向け、市民への情報発信や活動支援を展開するために、ボランティアセンターの総合化・機能強化を図ることを目指し事業を実施した。特に、今年度は「第４次地域福祉活動計画」のボランティアセンターの８つの取り組み方針に基づき、事業の充実を図った。。

（1）枚方市ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター開所状況　（単位：日）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	計
日数	２１	１８	２２	２１	２２	２０	２０	２０	２２	２０	１９	２２	２４７

②枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

月　日	場　所	内　容	出席数
8／23	ラポールひらかた 研修室１	・平成２１年度「ボランティア活動推進事業」事業報告 ・平成２２年度「同事業」事業計画・年間予定・相談事例 ・意見交換「ボランティアセンター事業について」	１７人
2/24	ラポールひらかた 研修室１	・平成２２年度ボランティア活動推進事業の進捗状況 ・施設とボランティアの懇談会報告 ・相談事例報告	１９人

③ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内６６団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」に参加し、府内的な活動にも参画している。

ア）枚方市ボランティアグループ連絡会

・連絡会の開催　（４／１、６／１、８／２、10／１、12／１、２／１　　計６回）
・役員会の開催　（５／27、７／29、９／30、11／25、１／27、３／24　　計６回）
・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読（９／10）
・平成２２年度「赤い羽根」募金運動　街頭募金協力（10／1、10／4　計２回）
・第１３回ラポールふくしフェスティバル開催・運営に協力（11／13）
・機関紙「ひろば」の発行（年１回／８００部）

イ）大阪府市町村ボランティア連絡会（計７回）

・総　会　　（５／１８）　　・代表者会議（２／21）
・河北ブロック交流会（11／22）　　・研修会（リーダー研修：11／16）

④ボランティア関係機関との連携

ア）ボランティア・市民活動中間支援組織との連携

・北河内ボランティアセンター、ひらかたＮＰＯセンターとの連携・協働を図り、市内におけるボランティア活動の推進及び市民活動者の意識醸成と受入れ環境の充実を図るために合同会議を実施した。
・３センター会議の開催（5／13、6／3 、7／2、9／2、10／21、12／16、 1／21、 2／17　計８回）
・学校訪問等：各センターの資料、活動メニューなどを配布

イ）枚方市「ボランティア関係課会議」への参加（11／22）

ウ）NPO 法人 北河内ボランティアセンターとの協働

・ボランティアコーディネーションの事例検討と情報交換
・施設ボランティア・コーディネーター支援セミナーの共同開催
　3／5　テーマ「そもそもなんで？ ボランティアの受入れ　～華頂短期大学　名賀先生～」（25 人）

エ）ひらかたＮＰＯセンターとの協働

・運営主体への参画（ＮＰＯ法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任）
　総会（5／23）、理事会（５／23、10／26、３／28）

⑤相談・コーディネート活動

ア）来談者状況

来談形態	件 数
来　所	５，０００
電　話	１，２８９
計	６，２８９

性別	人 数
男性	２，１９１
女性	４，０９８
計	６，２８９

相談内容	件 数
ボランティア活動希望	２１３
ボランティア活動相談	６０５
ボランティア派遣依頼相談	２３５
各種情報提供等	５，２３６
計	６，２８９

イ）ボランティア活動相談（ボランティア活動者に対する相談）

・ボランティア活動希望相談　　・ボランティア登録　　・ボランティア活動紹介
・ボランティア組織化、運営相談
・企業、労働組合、学校、地域等のボランティア活動企画および活動場所提供（開拓）
・福祉施設及び各種市民活動等へのボランティア受入れ依頼　　など

ウ）ボランティア登録状況（平成２３年３月末現在）

・登録者数　１，２９６人　　・うち、新規登録者：　８３人

エ）ボランティア相談・コーディネートの状況

相　談　者	件 数
ボランティア活動者・団体	３，５９２
市　民	１，２０２
団　体（福祉団体・市民活動・ＮＰＯ等）	３２０
地域（民生委員・福祉委員会・地域組織）	３７０
学　校・教　育　関　係	９７
福　祉・医　療　関　係	２９４
公的機関・行事応援　等	４１４
計	６，２８９

対応結果	件 数
調整（派遣・募集・終了）	６，０９８
継続（調整中・相談継続）等	１７５
調　整　不　可	１５
取　り　下　げ	１
計	６，２８９

⑥情報提供、啓発活動の状況

ア）機関紙、冊子の発行

・情報紙『ぼらんてぃあアドバイザーニュース』発行（奇数月／年６回／各1,200部）

・ボランティアセンターのしおり及びグループ活動資料の作成・配布を随時実施。

イ）情報媒体への提供・協力

・社協だより／　４回　　・広報ひらかた／　１２回　　・テレビ・ラジオ／　２回

・ボランティアＯＳＡＫＡ／　２回　　・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等／随時

ウ）収集ボランティア活動

・ロータスクーポン収集活動／　４３８点

・使用済みテレホンカード、プリペイドカード収集活動／２９．９kg

エ）各種機器、機材の貸与事業

・点字板／１６件（延べ８４８枚）　　・アイマスク／１２件（延べ３９０枚）

オ）ラポールふくしフェスティバル開催支援（ボランティアコーナー等の企画・運営サポート）

⑦ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、センターが保有する各種情報の提供を行った。特にボランティアグループの活動を継続するために活用できる各種助成金や表彰制度の紹介に重点を置いて取り組んだ。また、地震など災害時の支援情報に関する情報提供を行うとともに、災害ボランティアセンター設置訓練（1／21）において、緊急時情報網の開設・運用訓練を行った。

【内　容】・パソコン用ホームページ運営　……　年間アクセス数：　７，８０８件

・携帯端末用専用コンテンツの運営　…　年間利用登録者数：　２５０件

（2）ボランティア・市民活動者研修・育成活動

①ボランティア体験プログラム…市内各施設の協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】　７月１日～８月３１日

【協力施設】　２１施設　（障害者施設：３／高齢者施設：８／保育所：１０）

【参加人数】

参加対象	高校生以下	大学生	専門学校生	社会人	合計
人数(人)	３１	１９	３	９	６２
延日数	４９	４０	４	１６	１０９

②ボランティア・市民活動講座

〈手作りおもちゃ講習会〉（年２回開催／各１日）　　※総合福祉会館管理運営事業と共催実施

月　日	場　所	内　　容	出席数
7／21	ラポールひらかた 大研修室	布の絵本　　『あんこうのお食事』 講師　ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ　牧野おもちゃライブラリー	４９人
12／2	ラポールひらかた 大研修室	しかけおもちゃ『雪だるまさん　な～らんだ』 講師　ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ　牧野おもちゃライブラリー	５０人

（3）ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置するとともにスキルアップ研修等を実施し、相談機能の充実強化を図った。

①ボランティア・アドバイザーの設置

【ボランティア・アドバイザー】　１５人

１日延べ４人、２交替の体制で配置。（従事時間：午前９時３０分～午後５時）

【活動日数】２４７日／延べ９８８人　　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
活動人数(延)	84	72	88	84	88	80	80	80	88	80	76	88	988

※ミーティングを毎月第４(火)、年間１２回開催

②ボランティア・アドバイザー現任者研修の開催

・ボランティアアドバイザー養成講座　11／1、11／15　（　９人）

・災害支援ボランティアリーダー養成研修　11／18 ～11／20　（　２人）

・災害ボランティアセンター設置シミュレーション　(1／21)　（１２人）

③ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、アドバイザーが企画・運営した。

４／１９　「今日からあなたもマジシャン」　（１４人）
５／１７　「暑中見舞いをつくってみよう！」　（　５人）
７／１６　「おしえて　手話のこと！」　（１４人）
８／２５　「牛乳パックで　スポーツカーを作ろう」（１０人）
９／　９　「新聞紙で作る　バラのコサージュ」　（１１人）
１０／　８　「朗読サロン」　（２０人）
１１／２５　「あなたの髪のお手入れ」　（２０人）
１２／　３　「クリスマスを飾りましょう」　（１５人）
１／１７　「風車をつくろう」　（１７人）
２／　1　「ひな人形を作りましょう」　（１４人）
３／　９　「物忘れが気になる方の認知症講座」　（１８人）
計　１１回　／参加者：　１５８人

（4）災害時の体制づくり

地域力を生かした災害に強いふくしのまちづくりを目指し、災害時支援ボランティアの養成、及び災害ボランティアセンターの設置訓練を実施した。また、「枚方市災害時要援護者避難事業」を受託し、要援護者の避難支援体制づくりを行った。

①災害ボランティアセンター設置シミュレーションの実施

平成１８年度に作成した『災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル』に基づき災害ボランティアセンターの設置訓練を実施し、訓練参加者からの評価・意見を集約し、実際の災害時におけるより実践的な体制整備についての検証・検討を行った。

月　日	場　所	内　　容	出席数
1／21	ラポールひらかた 大研修室 研修室１	職員訓練 【テーマ】北河内地域の６市社会福祉協議会、中間支援組織２センターとの連携 １）災害ボランティアセンター開設訓練 ２）災害ボランティアセンター運営訓練 ３）振り返り・研修 講師　大阪府社会福祉協議会　地域福祉部 大阪府ボランティア・市民活動センター 副部長　　西原 弘将 氏	７１人

②災害時支援者の養成（避難支援・復興支援ボランティア研修会の実施）

災害ボランティアセンターの設置訓練の後、災害時要援護者支援ボランティアを含む同訓練参加者全員で、山口県における水害被災地の実際の救援活動等の記録映像を視聴し、災害時の支援の実際について情報を共有し、避難時の取り組み・支援方法、ボランティアとしての役割や活動について、グループ討議を行うなどの研修を実施した。

③災害時要援護者支援ボランティアの募集

・募集期間　　通年　　・登録者数　　１２０人

・啓発方法　　広報ひらかた、社協だよりに募集記事を掲載。募集ちらしを配布。

④災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、災害が発生した時に、自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象に、安否の確認や避難の支援が円滑に行えるような体制づくりを行った。

〈要援護者登録状況〉　高齢者　８２２人（男性　２０２人、女性　６２０人）

障害者　　７０人（男性　　３６人、女性　　３４人）

計　８９２人（男性　２３８人、女性　６５４人）（平成２３年３月末現在）

⑤関係機関・団体等との連携及びネットワーク構築

・枚方市災害対策関係課会議（福祉総務課、危機管理室、高齢社会室、障害福祉室　など）

・民生委員児童委員協議会　　・枚方市赤十字奉仕団　　・関西医科大学付属枚方病院

・北河内ボランティアセンター　・ひらかたＮＰＯセンター

⑥視察・研修　等

10／16　関西医科大学付属枚方病院　大規模災害シミュレーション（於：関西医大枚方病院）

11／14　大阪府・北河内地域７市合同防災訓練における災害ボランティアセンター運営シミュレーション

11／18～11/20　災害支援ボランティアリーダー養成研修

３．小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者、障害者（児）、子育て中の親子などが、地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制を整備することを目的とした、小地域ネットワーク活動を校区福祉委員会を中心に展開した。

（1）校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

月　日	場　所	内　　容	出席数
4／27	ラポールひらかた 集会室	・平成２２年度住民会員募集について ・平成２１年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成２１年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について ・各種委員会委員の推薦について	９人
8／4	ラポールひらかた 特別会議室１	・平成２２年度住民会費の中間報告について ・各種委員会委員の推薦について ・第４次地域福祉活動計画について ・ふくしのまちづくり合同会議について ・いきいきサロン健康サポーター養成講座について ・こんにちは赤ちゃん事業について	１０人
9／28	ラポールひらかた 特別会議室１	・住民会員募集の中間報告について ・第４次地域福祉活動計画の進捗状況について ・活動者研修会について（報告） ・会長研修会について	９人
12／22	ラポールひらかた 特別会議室１	・平成２２年度住民会員募集の校区助成について ・地域福祉活動計画の推進について ・府小地域ネットワーク活動リーダー研修会について	８人
3／15	ラポールひらかた 特別会議室１	・平成２２年度社協住民会員募集及び歳末たすけ合い募金の報告について ・歳末たすけ合い募金の校区配分について ・平成２３年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・平成２３年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・活動者研修会の開催について ・全体会及び会長研修会の開催について	１０人

②全体会議開催状況

月　日	場　所	内　　容	出席数
5／20	ラポールひらかた 大研修室	・平成２２年度社協住民会員募集について ・平成２１年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成２１年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について ・校区福祉委員会協議会役員の選任について	４４人
3／28	ラポールひらかた 研修室１	・平成２２年度社協住民会員募集及び歳末たすけ合い募金の報告について ・地域福祉活動支援助成について ・平成２３年度ボランティア保険について ・災害時要援護者避難支援事業について ・平成２３年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・平成２３年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類の提出について ・平成２３年度校区献血日程について ・冬期献血街頭キャンペーンの結果報告について	４５人

③各エリア会議開催状況

ア）北エリア会議

月　日	場　所	内　　容	出席数
7／21	ラポールひらかた 研修室２	・平成２２年度北エリア会議・研修会予定について ・平成２２年度北エリア管外研修について ・校区ふくしのまちづくり計画について ・各校区の活動報告及び意見交換	２３人
8／31	株式会社かんでん	【視察研修】	３０人

	エルハート	・株式会社かんでんエルハート	
12／20	楠葉生涯学習市民センター 第１集会室他	・小地域ネットワーク活動について ・分科会（情報交換会）	４０人
3／14	楠葉生涯学習市民センター第1集会室	・平成２３年度北エリア会議活動計画（案）について ・校区ふくしのまちづくり計画について	２７人

イ）中エリア会議

月　日	場　所	内　　容	出席数
6／22	ラポールひらかた 研修室１	・平成２２年度中エリア事業計画について ・校区ふくしのまちづくり計画について ・各校区の意見交換 ・中エリア管外研修について	３１人
11／10	奈良市 社会福祉協議会	【視察研修】 ・奈良市社会福祉協議会（音楽療法について）	３４人
12／14	ラポールひらかた 研修室１他	・小地域ネットワーク活動について ・分科会（情報交換） ・各グループからの報告、まとめ	４１人
3／2	ラポールひらかた 研修室１	・講演「地域での障害者支援について」 講師：ＮＰＯ法人陽だまりの会　理事長 河野 和永 氏 ・意見交換、質疑応答 ・平成２３年度　中エリア事業計画について ・第２次校区ふくしのまちづくり計画策定について	２８人

ウ）南エリア会議

月　日	場　所	内　　容	出席数
7／2	ラポールひらかた 研修室１	・平成２２年度南エリア会議事業計画について ・南エリア管外研修について ・校区ふくしのまちづくり計画　平成１９年度指定校区からの報告 ・各校区活動状況・意見交換	３１人
10／26	高齢者劇団 「ババーズ」	【管外研修】 ・高齢者劇団「ババーズ」の視察研修	３８人
11／22	ラポールひらかた 研修室１他	・小地域ネットワーク活動について ・分科会（活動者交流会）	４０人
2／28	ラポールひらかた 研修室２	・平成２３年度南エリア会議事業計画（案）について ・各校区の子育て支援活動の取り組みについて ・各校区の活動状況、情報交換	２７人

エ）東エリア会議

月　日	場　所	内　　容	出席数
7／23	ラポールひらかた 研修室２	・平成２２年度東エリア会議活動予定について ・各校区の活動状況について ・情報交換	２１人
12／21	ラポールひらかた 集会室	・事務局からの情報提供について ・平成２２年度東エリア管外研修会について ・テーマ別・グループ別意見交換会	２８人
3／4	神戸市立地域人材支援センター	【視察研修】 ・神戸市立地域人材支援センター 【エリア会議】 ・平成２３年度東エリア会議活動計画（案）について	２６人

（2）研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

月　日	場　所	内　　容	出席数
3／17	メセナひらかた会館 大会議室	〈テーマ〉「地域の福祉力を高めるために」 講師　佛教大学　社会福祉学部　社会福祉学科 教授　岡﨑 祐司 氏	１０３人

②校区福祉委員会会長研修会

月　日	場　所	内　　容	出席数
3／28	ラポールひらかた 研修室１	〈テーマ〉「これからの小地域ネットワーク活動について」 講師　大阪府社会福祉協議会　地域福祉部 宮本　明子 氏	４５人

③校区福祉委員会会計担当者研修会

月　日	場　所	内　　容	出席数
5／25	ラポールひらかた 大研修室	・校区福祉委員会の活動と財政について ・校区福祉委員会会計の処理について	８７人

（3）小地域ネットワーク活動推進事業

市内４５全校区福祉委員会が見守り・声かけ訪問、家事援助などの個別援助活動やいきいきサロン・子育てサロンや世代間交流などのグループ援助活動、各種研修会を展開した。

(小地域ネットワーク活動推進事業に関する会議、研修)

①いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

「いきいきサロン」で活用できる転倒予防のための体操や認痴症予防のためのレクリエーション等、高齢者の健康づくりを地域で実施できるサポーターを養成することを目的に実施。

月　日	場　所	内　　容	出席数
8／18	ラポールひらかた 大研修室	・転倒予防に効果のある体操 ・高齢者の食事のポイント 講師：保健センター理学療法士、栄養士、保健師	７４人
8／25	メセナひらかた会館 大会議室	・認知症予防に効果のあるレクリエーション ・口腔ケアと口の体操 講師：保健センター作業療法士、保健師	７４人

②府小地域ネットワーク活動リーダー研修会

月　日	場　所	内　　容	出席数
2／24	大阪国際交流 センター	テーマ 「小地域における子どもの命と育ちをまもる仕組み」 主　催：大阪府社会福祉協議会 〈パネルディスカッション〉 パネリスト 枚方市東香里校区福祉委員会　会長　福間眞智子　氏　他	５３人

（4）その他の活動

・社協住民会員募集の協力（７月）
・献血街頭キャンペーンの参加
　夏期（７／12、７／30、８／２、８／９）
　冬期（12／2　、12／13　、１／13　、１／24　）
・第１３回ラポールふくしフェスティバルの参加（11／13）
・歳末たすけあい募金運動の協力（１２月）

4. 助成事業

福祉団体やひとり暮らし老人会などの当事者組織が、円滑な組織運営や活動を行えるように助成するとともに、連絡会の活動支援を行った。

（1）枚方市福祉団体連絡会の活動援助

①福祉団体連絡会開催状況（全体会１回、定例連絡会７回　計８回）

月　日	場　　所	内　　容	出席数
5／ 6	ラポールひらかた ミーティングルーム	・ラポールふくしフェスティバルについて ・総会について ・第１回管外研修について　　など	１１人
5／21	ラポールひらかた 研修室１	［全体会］ ・平成２１年度事業報告・決算・監査報告 ・平成２２年度事業計画・予算 ・研修会	４１人
6／30	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・市要望書について ・第１回管外研修会について ・大阪府福祉基金振興助成金について　など	１２人
7／26	ラポールひらかた 研修室３	・健康福祉フェスティバル ・市要望書について　　など	１５人
9／ 1	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・市要望書説明会について ・第２回管外研修会について ・障害者週間キャンペーンについて　　など	１３人
11／15	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・市要望書説明会について ・障害者週間キャンペーンについて　　など	１４人
1／24	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・障害者週間キャンペーン報告 ・民間バス借り上げ補助金申請について ・２月交流会について　など	１３人
3／28	ラポールひらかた 特別会議室１	・平成２２年度決算見込みについて ・４月交流会について ・東北地方震災募金活動について　など	１６人

②企画委員会の開催

・年７回開催　委員５人（監事を除く連絡会役員）

・連絡会での提案・検討内容及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4／12（５人）、6／2（４人）、7／15（４人）、8／30（４人）、11／8（４人）、12／27（４人）、3／7（５人）

③研修会の開催　（年３回開催：管内研修会１回・管外研修会・２回）

月　日	場　　所	内　　容	出席数
5／21	ラポールひらかた 研修室１	《第1回　管内研修会》地域包括支援ｾﾝﾀｰの役割について 講 師：地域包括支援ｾﾝﾀｰ　ふれあい　　西田　伸央 氏	４１人
7／ 7	奈良県奈良市	《第1回　管外研修会》 『施設見学』：社会福祉法人中川会 フリーシュタットなかがわ	３３人

10／15	滋賀県湖南市	《第2回　管外研修会》 場所：オープンスペースれがーと 　　信楽陶苑たぬき村	３１人

④交流会の開催（年２回開催）

各団体会員相互の交流を深めるために、交流会を開催し親睦を深めた。

月　日	場　　所	内　　容	出席数
4／ 9	京都市	京都太秦映画村 平安神宮	３１人
2／ 2	ラポールひらかた 日常生活訓練室	料理教室 （餃子・コーヒーゼリー・羊羹作り） 講師：交通災害遺族会　雲川　光子　氏	２０人

⑤健康・福祉フェスティバル開催に協力

模擬店参加　（１団体）

⑥ラポールふくしフェスティバル開催に協力

模擬店参加（２団体）

⑦障害者週間啓発キャンペーン　１２／６　午前　枚方市駅ロータリー付近にて啓発用ティッシュ配布

午後　イベント…　和太鼓演奏・講演会・マリンバ演奏

（２）枚方市地域共同作業所連絡会の活動援助

市内の地域共同作業所、施設、事業所及び関係機関・団体との連携を図り、情報交換や活動交流、相互研修などを通じて、作業所等地域の活動拠点の円滑な運営と障害のある人の社会参加の促進などを図ることを目的として、各種の事業を実施した。

①役員会の開催

6／29、7／13、8／24、9／28、10／19、11／30、1／11、2／23、3／15　　計９回

②代表者会議の開催（年２回）

月　日	場　　所	内　　容	出席数
5／18	ラポールひらかた 研修室１	・平成２１年度　事業報告について ・平成２１年度　決算・監査報告について ・平成２２年度　役員選出について ・平成２２年度　事業計画（案）について ・平成２２年度　予算（案）について	１２人
10／26	ラポールひらかた 研修室３	・平成２２年度　上半期（９月までの）活動報告について ・枚作連の今後の方向性について	１７人

③作業所戸別訪問の開催

自立支援法に基づく新体系事業所への移行が必要な作業所を訪問し、意見交換を行った。

実施対象：明日花障害者作業所・サンスクエア・山田ひまわり

④研修会の開催

１０／５　　事例発表及び検討会

ＮＰＯ法人陽だまりの会　岡部　典方　氏

⑤交流会の開催

月　日	場　所	内　　容	出席数
１／19	神戸 花鳥園	・見学（ふくろうショー及びペンギンとのふれあい） ・昼食（バイキング）	８５人

⑥バザーの実施・参加

・１０月２４日　第２２回枚方市健康福祉フェスティバル　　７団体
・１１月１４日　第１３回ラポールふくしフェスティバル　　８団体
・１１月２５日　作業所連絡会主催バザー　　１０作業所

⑦作業所作品等の販売活動

・和菓子処「大黒屋本店」での販売活動
出店　　４作業所
売り上げ　１１６，９１０円（平成２２年４月～平成２３年３月）

（3）枚方市ひとり暮らし老人会連絡会の活動援助

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会及び、関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化と、ひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次の活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】　　（平成２２年　４月　１日現在）

校区福祉委員会数	設置数	会員総数
４５校区	４２会	１，４４７人

①連絡会の開催状況

ア）役員会

月 日	場　所	内　　容	出席数
5／14	ラポールひらかた 特別会議室１	・平成２１年度事業報告・決算報告について ・平成２２年度予算について ・ひとり暮らし老人会活動助成について ・会長・役員研修会（管内・管外）について	７人
8／2	ラポールひらかた 特別会議室１	・民生委員児童委員協議会、高齢者福祉部会との打ち合わせ ・会長・役員研修会（管内研修）について ・会長・役員視察研修会（管外研修）について ・ひとり暮らし老人会交流・研修会実施要綱について	７人
2／24	ラポールひらかた 特別会議室１	・会長・役員視察研修会（管外研修）報告 ・交流・研修会の実施状況について ・連絡会活動事業補助金による各事業の実施（支出）状況について	６人

イ）全体会

月 日	場　所	内　　容	出席数
6／2	ラポールひらかた 研修室１	・平成２１年度事業・決算報告について ・平成２２年度事業計画(案)・予算(案)について ・ひとり暮らし老人会連絡会活動助成について ・会長・役員研修会（管内・管外研修）について	４２人

9／8	ラポールひらかた 研修室１	・会長・役員研修会（管内研修）の報告について ・会長・役員視察研修会（管外研修）について ・ひとり暮らし老人会交流・研修会実施要綱について ・対市要望について ・民生委員児童委員協議会・高齢者福祉部会との懇談会について	４１人
3／25	ラポールひらかた 研修室１	・会長・役員視察研修会（管外研修）の報告について ・交流・研修会の実施状況について ・連絡会活動事業補助金による各事業の実施（支出）状況について ・役員改選について	４４人

②研修会の開催状況

ア）全体研修会

月 日	場　　所	内　　容	出席数
8／25	ラポールひらかた 大研修室	【会長役員研修会】 「相続・遺言について知っておこう」 講　師　　あかり司法書士事務所 司法書士　　濱田　眞弥　氏	８８人
11／12	泉佐野防災学習センター 岸和田だんじり会館・水間寺	【視察研修会】 防災について様々な体験を通して学習する。 伝統的な地域の祭にふれる。	３８人

イ）ブロック別交流・研修会

月 日	場　　所	内　　容	出席数
10／28	メセナひらかた	Aブロック（9会） ・講演「健康体操について」 ・カラオケ大会、ダンス・踊り・合唱	９４人
10／26	ラポールひらかた 大研修室	Bブロック（7会） ・講演「自然災害に対する理解と心構え」 ・高齢者の交通安全について・戦国武将の生き様について	５９人
9／18	ラポールひらかた 大研修室	Cブロック（5会） ・ビデオ鑑賞　・合唱、カラオケ、踊り	８８人
2／16	香里団地D地区 集会所	Dブロック（6会） ・ガンバルーン体操 ・落語・合唱	３２人
9／30	村野団地集会所	Eブロック（5会） ・講演「包括支援センターから見たひとり暮らし生活について」 ・カラオケ	２５人
11／26	メイトホール菅原	Fブロック（5会） ・講演「防災について」 ・ゲーム・カラオケ	５５人
10／29	津田生涯学習 センター	Gブロック（4会） ・講演「ひとり暮らし老人会について」 ・落語・カラオケ	８７人

③関係機関・団体等との連携事業の状況

月 日	場　　所	内　　容	出席数
10／ 5	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会・高齢者福祉部会との懇談会 （会員対象） ・高齢者福祉部会員とひとり暮らし老人会参加者との懇談会	１０４人 (内会員) ７６人

④小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

＊月例開催状況　　・年間１１回　１，１１３人（延べ人数）、主にメセナひらかたにて活動

＊主催行事　　・友愛訪問：特別養護老人ホーム　里仁館（3月２６日・３２人）

＊記念イベント　　・２０周年記念コンサート（１１月２７日）３５０人（内会員９９人）

5. 献血推進事業

厚生労働省は、血漿分画製剤を含むすべての血液製剤の国内自給をめざして、献血人口の拡大と４００㎖献血・成分献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴えている。平成２２年度は、４００㎖献血・成分献血の推進を図るとともに、枚方市駅献血ルームの広報活動を展開した。献血推進協議会を中心に、関係機関・団体等との連携を図りながら効果的な啓発活動を行い、昨年度と比べて４００㎖採血が増加するなど、実績を上げることができた。

（1）事業内容

①　献血推進協議会開催状況

月 日	場 所	内　　容	出席数
6／25	ラポールひらかた 研修室２	・平成２１年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成２２年度事業計画について ・平成２１年度大阪府献血推進事業及び平成２２年度献血推進計画について ・平成２１年度大阪府献血実績及び供給状況について ・枚方市駅献血ルームの献血実績について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーンの結果について ・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて	２０人

月 日	場 所	内　　容	出席数
10／18	ラポールひらかた 研修室２	・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・最近の血液事業について ・血液事業の現状と血液確保について ・平成２２年度上半期、枚方市駅献血ルームの献血状況について ・枚方市献血冬期街頭キャンペーンの計画について	２０人

②街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前及び京阪樟葉駅前、京阪枚方市駅献血ルーム周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が啓発用ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所周辺を広報車で回り、献血協力を呼びかけた。

（単位：人）

	実　施　日	場　　所	参加者数	受付者数	採血者数
夏期	７月１２日（月）	京阪樟葉駅前	１４	３５	２６
	７月３０日（金）	枚方市駅前（ルーム前）	１５	６９	５７
	８月　２日（月）	枚方市駅前（ルーム前）	１７	６２	４４
	８月　９日（月）	枚方市駅前（ルーム前）	１６	５３	３７
小　　計			６２	２１９	１６４
冬期	１２月　２日（木）	京阪樟葉駅前	１５	５６	３９
	１２月１３日（月）	枚方市駅前（ルーム前）	２０	３４	２６
	１月１３日（木）	枚方市駅前（ルーム前）	２１	５８	４５
	１月２４日（月）	枚方市駅前（ルーム前）	１３	４６	３８
小　　計			６９	１９４	１４８
合　　計			１３１	４１３	３１２

【実施時間】　午前１０時３０分 ～ １１時３０分　　午後１時 ～ ２時

③校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、２８校区において献血を実施した。実施にあたり、広報活動など積極的に援助・協力するとともに、献血に関する必要な情報提供を行った。なお、広報活動として、ＰＲ用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行うとともに、枚方市駅献血ルームの啓発チラシを配布し献血推進の啓発に努めた。

④関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

（２）枚方市献血実績　　（単位：人）

実施区分（域）	①受付者数	②採血者数	採血者内訳			主催団体 実施場所等
		②／①	200mℓ	400mℓ	成分	
街　頭	4,433	3,390	20	3,370	0	京阪枚方市駅前 樟葉駅前
		76.5%	0.6%	99.4%	0.0%	
学　域	1,133	801	110	691	0	高校・短期大学 大学等
		70.7%	13.7%	86.3%	0.0%	
職　域	1,875	1,578	133	1,445	0	事業所・病院 市役所等
		84.2%	8.4%	91.6%	0.0%	
校　区	1,669	1,259	180	1,079	0	校区福祉委員会等
		75.4%	14.3%	85.7%	0.0%	
地　域	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
採血者計(小計)	9,110	7,028	443	6,585	0	街頭～地域 の合計
		77.1%	6.3%	93.7%	0.0%	
献血ルーム	17,542	15,534	439	4,700	10,395	枚方市駅献血ルーム
		88.6%	2.8%	30.3%	66.9%	
総　合　計	26,652	22,562	882	11,285	10,395	採血車・献血ルーム の合計
		84.7%	3.9%	50.0%	46.1%	

（採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。）

6. 福祉サービス利用援助事業

平成９年１０月から、大阪府のモデル事業（府補助事業）として実施してきた経済生活支援サービス事業は、平成１１年１０月から、国の事業「地域福祉権利擁護事業」（現在は「日常生活自立支援事業」に名称変更）に移行され、大阪府社会福祉協議会と業務委託契約を締結し事業を実施している。

なお、本事業は、平成１２年６月に施行された社会福祉法において、第二種社会福祉事業「福祉サービス利用援助事業」として位置づけられている。

（1）事業概要

①事業目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助を行ったり、日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②サービス内容

利用者との福祉サービス利用援助契約に基づき支援計画を作成し、以下のサービスの提供を行う。

ア）福祉サービスの利用援助　イ）日常的金銭管理サービス　ウ）通帳・証書等預かりサービス

③職員体制：専門員 ２人、生活サポーター ４人

（2）実施状況

①サービスの利用状況‥‥５２件

	預かりサービス・金銭管理	金銭管理のみ	計
認知症高齢者	３	２５	２８
知的障害者	１０	５	１５
精神障害者	１	８	９
計	１４	３８	５２

＊うち平成２２年度新規契約ケース ５件（認知症高齢者４件、知的障害者１件）
解約ケース ４件（認知症高齢者）

②月別利用契約状況　（単位　人）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	計
認知症高齢者	２８	２８	３０	３０	３０	２９	２９	３０	３０	３０	２９	２８	351
知的障害者	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	１５	180
精神障害者	９	９	９	９	９	９	９	９	９	９	９	９	108
計	５２	５２	５４	５４	５４	５３	５３	５４	５４	５４	５３	５２	639

③生活サポーター稼働状況　（訪問　１，１３６回、その他代行等　２，４３３回）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	計
金銭授受訪問	７０	６２	６７	６４	６８	６９	６５	７２	７５	６１	７６	８３	832
身上配慮訪問	２７	３０	３４	３２	３２	２２	２３	２３	２２	２３	１９	１７	304
手続代行など	193	198	197	215	206	198	207	183	269	173	195	199	2433
計	290	290	298	311	306	289	295	278	366	257	290	299	3569

④相談件数

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	計
相談件数	１，１０１	５０１	８５７	４０	２，４９９

（3）福祉サービス利用援助事業監査委員会

月　日	場　所	内　　容	出席数
7／22	ラポール ひらかた 特別会議室１	・事業実施状況報告（平成２２年２月～平成２２年５月） ・新規・解約ケースについて	５人
11／16	ラポールひらかた 特別会議室１	・事業実施状況報告（平成２２年６月～平成２２年９月） ・新規・解約ケースについて	５人
3／22	ラポールひらかた 特別会議室１	・事業実施状況報告（平成２２年１０月～平成２３年１月） ・新規・解約ケースについて	６人

（4）大阪後見支援センター実地調査

月　日	場　所	内　　容	出席数
2／18	ラポール ひらかた 施設長室	・事務手続きの調査 ・預金通帳と印鑑の保管の調査 ・補助金関係の調査	５人

7. 精神保健福祉推進事業

昭和４６年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ、枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発と市民のだれもがこころの健康を維持できるように「こころの健康づくり」を目的とした活動をすすめた。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援、及びボランティアの養成などを実施した。

（1）精神保健福祉推進協議会の開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数
7／16	ラポールひらかた 研修室１	・正・副会長の選任について ・平成 21 年度　事業報告について ・平成 22 年度　事業計画について ・意見交換	１９人
3／3	ラポールひらかた 研修室１	・平成 22 年度　事業実施状況について ・平成 23 年度　事業計画（案）について ・企画検討部会報告	１９人

（2）企画検討部会の開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数
5／27	ラポールひらかた 特別会議室１	・委員紹介 ・正・副会長の選任について ・平成２１年度　事業報告について ・平成２２年度　事業計画について ・教育委員会との情報交換	６人
10／5	ラポールひらかた 集会室	スクールカウンセラー（小学校・中学校）による情報提供	６人
11／11	ラポールひらかた 特別会議室２	・今後の取り組みについて	８人

（3）ふれあい交流事業の実施状況

①しあわせＨＯＴフェスティバル

テーマ：「地域で幸せに暮らす！　～それぞれの幸せのかたち！！～」

趣　旨：地域にはこころの病を持ちながら日々様々な問題や悩みを抱えて暮らしている人がたくさんいる。そのような方々に地域の社会資源を知ってもらうと共に「それぞれの幸せのかたち」を見出し、次のステップにつながるようなイベントを目指し、こころの病を持つ当事者が中心となって組織された実行委員会で企画・運営を行った。

実行委員会開催

4／22・6／4・6／24・7／29・8／26・9／29・10／28・11／11・12／16・1／27・3／17

月　日	場　　所	内　　容	出席数
2／19	ラポールひらかた 大研修室他	パネルディスカッション及びライブコンサート ・各団体からパネリスト１名ずつ ・バンド・・・「おかん」「illy@奏」	１８４人

（4）ゼミナール・講演会等の開催状況

①こころの健康講座

主　催：枚方市精神保健福祉推進協議会、枚方断酒会

趣　旨：アルコール依存症が正しく認識され、予防、早期発見につなげることができることを目的に開催した。また、依存症になった場合の治療法や回復へ向けての支援のあり方について講演を行った。

月　日	場　　所	内　　容	出席数
10／9	ラポールひらかた 研修室１	テーマ：「その飲み方、大丈夫？ ～アルコールの功罪を考える～」 講　師：大阪府立精神医療センター 医師　野田　哲朗　氏	２４人

②市民活動啓発講座

主　催：枚方市精神保健福祉推進協議会・ボランティアグループ「あかり」

趣　旨：こころに病を持つ人への理解を深めるとともに、当事者支援活動への市民参加を図ることを目的に開催した。

月　日	場　　所	内　　容	参加者数
2／5	ラポールひらかた 研修室１	テーマ「こころの病を持つ人の理解と支援について」 講　師：枚方市地域活動支援センター「クロスロード」 施設長　辻　史生　氏 体験発表：わかちあう会　会員１人 ひらりの会　会員２人 あ　か　り　会員１名	５８人

③心の保健ゼミナール

主　催：枚方市精神保健福祉推進協議会

趣　旨：自殺者の増加がクローズアップされ社会的問題となっている。中でも中高年の自殺率が高いと言われており、中高年の心の健康の保ち方について正しい知識を得ることを目的に開催した。

月　日	場　　所	内　　容	参加者数
3／19	ラポールひらかた 研修室１	テーマ「心が疲れていませんか？ ～中高年の心は今・・・～」 講　師：関西記念病院副院長　高橋　良斉　氏	３６人

（5）セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

（6）こころの電話相談の支援

・相談日時　毎日午前１０時～午後４時（22 年１月より１月１日、２日は休み）
・相談員　　専門の研修を修了したボランティア
・相談日数　３６３日
・相談件数　４，５０３件

（7）ひらかたいのちのホットラインの開設

・相談日時　毎週火曜日　午前１０時～午後４時
・相談員　　専門の研修を終了したボランティア
・相談日数　５２日
・相談件数　３１件

（8）広報・啓発等の状況

啓発資材の配布（社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布）
・枚方市精神保健福祉推進協議会の啓発用パンフレットを適宜配布
・機関紙「ほっとＴｉｍｅ」の発行、各関係機関へ配布
・自殺予防啓発物品（相談電話番号入りのメモ帳・カード）の作成

8. 生活福祉資金貸付事業

厳しい社会経済情勢が続き、失業率も改善の兆しを見せない中、増加する低所得者に対するセーフティネット施策の１つとして生活福祉資金貸付事業を実施した。昨年度より、抜本的な見直しがおこなわれ、離職者支援資金に代わって、失業や減収等により生活に困窮している方について、継続的な就労支援とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付けを行うことにより生活の立て直しを支援する、総合支援資金が創設された。また、公的給付制度等の申請から決定までの間の必要な費用を貸し付ける臨時特例つなぎ資金も創設された。これらの貸付利用者の増加により、面接件数や貸付件数が急激に上昇した。また、卒業クライシスに対応するため、教育支援資金の弾力運用も行われ、同資金の貸付件数も増加した。

（1）生活福祉資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
面接件数	42	34	56	49	50	49	67	85	68	49	92	126	767
貸付件数	12	5	9	2	5	5	6	16	8	8	4	31	111

区　　分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	２２	２１，１２１，０００円
緊急小口資金	１５	１，３５０，０００円
教育支援資金	７２	３９，９３３，０００円
不動産担保型生活支援(一般世帯)	１	８，０５０，０００円
〃　　(要保護世帯)	１	４，４６６，０００円
合計	１１１	７４，９２０，０００円

（2）総合支援資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
面接件数	101	101	146	135	69	77	68	60	58	48	46	44	953
貸付件数	20	28	49	54	32	22	25	28	13	16	15	12	314

区　　分	貸付件数	貸付決定金額
生活支援費	２８２	１４６，８３２，０００円
住宅入居費	１２	２，２７０，７６１円
一時生活再建費	２０	２，９６５，０００円
合　計	３１４	１５２，０６７，７６１円

（3）臨時特例つなぎ資金

面接件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額（総額）
１３２件	３１件	２９件	２件	２，６８０，０００円

9. 住宅改造助成調査事業

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活動作の改善や介護者の負担軽減を図るため、身体の状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

本事業の推進のため、作業療法士や理学療法士等の協力を得て「リフォームチーム」を編成し、介護支援専門員との連携のもと、住宅改造方法の提示や相談・助言を行った。

（1）重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

月　日	場　所	内　　容	出席数
5／19	ラポールひらかた 特別会議室２	・利用者の現況報告 ・住宅改造助成事業の課題について	８人
12／27	枚方市保健ｾﾝﾀｰ 会議室	・利用者の現況報告 ・平成２３年度の利用者募集について	７人
１／19	ラポールひらかた 日常生活訓練室	・平成２２年度　事業の進行状況について ・平成２３年度　住宅改造助成事業方針について ・平成２３年度　募集要項の確認 ・協力店名簿募集方法について	８人

（２）改造助成の相談状況及び改造箇所について　（単位：件）

区　　分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
６５歳以上	５７	１４	４３
６５歳未満	３２	１６	１６
不　明	２７	０	２７
計	１１６	３０	８６

・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。また、助成金対象世帯であっても着工済み・予算枠の空きがない等の理由も含む。

（訪問稼動数　　１１５回）

（単位：件）

区分	便所	浴室	玄関・ｱﾌﾟﾛｰﾁ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
６５歳以上	6	7	4	1	5	1	5	2	1	３２
６５歳未満	5	１０	2	0	2	2	1	3	0	２５
計	１１	１７	6	1	7	3	6	5	1	５７

【改造内容】（合計：６５歳以上ケース／６５歳未満ケース　単位：箇所）※改造箇所・内容については重複集計。

＊　手すりの取り付け（３７件：17／20）、段差解消（４７件：26／21）、床材変更・床上げ（２０件：6／14）、便器の洋式化・改善等（3件：0／3）、扉の変更・改善等（１９件：10／9）、シャワーの設置・蛇口改善（3件：1／2）、浴槽改善等（２６件：11／15）、段差解消機・昇降機設置（1件：1／0）

10. 住宅手当緊急特別措置事業

離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方又は喪失するおそれのある方を対象として住宅費を支援するとともに、住宅確保・就労支援員による就労支援等を実施し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。

（1）住宅手当緊急特別措置事業　相談一覧表

月		4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
相談件数	来所	137	114	134	111	71	75	62	57	53	48	50	39	951
	電話	40	19	21	57	27	30	21	8	16	12	14	17	282
決定件数		15	21	20	23	16	6	8	14	10	7	4	7	151
就労相談		179	202	235	288	293	221	197	201	223	181	150	169	2539
中止件数		3	3	5	4	3	6	7	1	4	2	6	1	45

※支給中止原因は、就職によるもの、生活保護の受給、または誓約事項違反による

11. 共同募金配分金事業

（1）赤い羽根共同募金（平成２２年１０月１日～平成２３年3月３１日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。募金総額は前年度より３０１，０８９円上回った。

募金総額　　１０，１０４，６４５円

また、２２年度は、１，３１５，４１０円の配分があり、本会から枚方市内のボランティアグループ６１団体に対し１，２００，０００円、ひとり暮らし老人会に対し１１５，４１０円の配分を行った。

（2）地域歳末たすけあい募金の実施　（平成２２年１２月１日～平成２３年３月３１日）　（単位：円）

収　入		支　出		
地区募金	11,544,955	福祉活動助成事業	共同作業所（連絡会助成含む）１４か所	820,000
団体募金	448,447		私立保育所　３２か所	640,000
			地域デイケア　３か所	435,800
		ひとり暮らし老人会運営助成（連絡会助成含む）		2,422,744
		地域福祉活動支援助成事業		5,400,000
		その他助成		532,000
		付帯経費		490,450
計	11,993,402	計		10,740,994

※今年度収支差額 1,252,408 円は、次年度配分に繰り越す。

12. 居宅介護等事業

自立支援法に基づく居宅介護事業(以下「ホームヘルプ事業」という)と介護保険法による訪問介護事業(以下「ホームヘルプ事業」という)及び居宅介護支援事業を行った。障害者中心にホームヘルプ事業を展開しているが、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は全体の約１１．２％(昨年は 10.2%)となり、徐々に増加傾向となっている。

ホームヘルプ事業、居宅介護支援事業共に利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。また、関係機関等と連携を密にし、サービス調整会議を行った。行政と事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

ヘルパーの派遣は午前６時４５分～午後１０時に、年間通じて休みなく行った。バックアップ体制として事務所も第２日曜日を除き、土日祝日も開所した。事務所閉所時間帯には、緊急連絡用携帯電話で担当職員が対応し、事業所として利用者の安心と安全、サービスの安定確保に努めると共に緊急対応や一時的な派遣要請の対応等多様な利用者のニーズに応じて支援を行った。また、今年度については、よりよいサービスの提供を目指して第三者評価機関による福祉サービス第三者評価を実施した。比較的高い評価が得られたが、第三者評価を通して事業の課題が明らかとなり、その改善にむけて課題整理を行った。

ホームヘルプ事業において、昨年度に引き続き介護職員等の処遇改善に係る助成により、契約職員の処遇を少しは改善出来たが、業務体系の根本的な課題も多いことから、ヘルパーの確保が困難な状況は変わっておらず、正規職員の時間外訪問を減少させることができなかった。２２年度に雇用したヘルパーは９人で、内４人しか雇用更新できず、1 年に満たないヘルパーの離職率が高く、人材育成するまでに至らない状況である。今年度についても人材の確保が最大の課題であった。

（1）事業の状況

①利用（契約）状況

ホームヘルプ事業の利用者は、年度途中の新規契約者９人（知的２人・精神４人・難病１人・介護保険２人）契約解除者は４人（身体１人・知的１人・精神１人・介護保険１）。３月現在、全体で１１７人となり、３人の増。居宅介護支援事業は、年度途中新規契約者５人、契約解除者３人。３月現在で２５人(うち介護予防７人)となり、１人の増。解約者の内訳は、ホームヘルプ事業においては、死亡２人、介護保険への移行者が２人。居宅介護支援事業においては死亡１人、介護予防への移行者２人となっている。利用者についてはホームヘルパーが確保できない状況もあり、新規利用契約の制限をしていることから前年度と変化はないが、精神障害者の希望が多く増加傾向となっている。

（単位：人）　（　　）は介護予防ケース数

月	自立支援法介護給付事業				市単費	介護保険	ホームヘルプ事業	介護保険
	居宅介護 事業				難病	訪問介護	合計	居宅介護支援事業
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者				
4	４２	２９	9	２０		１４	１１４	１８（6）
5	４２	２９	9	２０		１４	１１４	１８（6）
6	４２	３０	9	２１		１３	１１５	１８（6）
7	４２	３０	9	２３		１４	１１８	１７（7）
8	４２	３０	9	２１		１４	１１６	１５（7）
9	４１	２９	9	２１		１４	１１４	１６（7）
１０	４１	２９	9	２１		１４	１１４	１７（7）
１１	４１	２９	9	２１		１４	１１４	１７（7）
１２	４１	２９	9	２２		１４	１１５	１７（7）
1	４１	２９	9	２２		１４	１１５	１７（7）
2	４１	３０	9	２２	1	１４	１１７	１７（7）
3	４１	２９	9	２２	1	１５	１１７	１８（7）

②利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、平均月２５６３時間で、昨年度より月平均１０１時間増となっており、そのほとんどが障害者自立支援法による重度訪問介護の増によるものである。これは、利用者の介護内容が身体介護から重度訪問介護に変わったためである。増減の内訳は、1 ヶ月あたり自立支援法による重度訪問介護が、約１１７時間増、身体介護が約３１時間の減、家事援助が１０時間の増、介護保険が、4 時間の増、難病１時間の増となっている。ホームヘルパーの確保が困難な状況であるうえに、重度訪問介護の増により全体の時間数は増えているため、ヘルパー一人当たりの勤務時間が増加している。

（単位：時間）

月	ホームヘルプ事業利用時間							
	自立支援居宅介護事業（身体・知的・児童）			難病	介護保険訪問介護事業			合　計
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護	身体介護	生活援助	身体→生活	
4	547.8	1109.7	589.3		56.3	80.2	149.1	2532.4
5	542.7	1097.8	603		55.8	90.3	125.8	2515.4
6	555.2	1179.5	570.8		60.3	84.8	164.6	2615.2
7	554.2	1176.5	600.3		66	87	159.2	2643.2
8	557.2	1084.0	585.4		67	68.6	156.2	2518.4
9	529.0	1147.9	576.3		62	71.5	154.3	2541
１０	540.9	1185.2	593.2		68.6	75.2	159.6	2622.7
１１	548.2	1209.6	580.8		58.5	68.6	171.3	2637
１２	536.1	1181.6	610		79.4	70.9	162.1	2640.1
1	526.2	1063.2	610.2		71.5	60.4	124.4	2455.9
2	487.5	1101.0	563.3	4.5	58.5	67.7	128.6	2411.5
3	528.8	1199.3	601.4	13	74.7	77.5	137.8	2632.5
合　計	6453.8	13735.3	7084	17.5	778.6	902.7	1793	30765.1

月平均 利用時間	時間２５６３時間（自立支援によるホームヘルプ約２２７３時間 介護保険によるホームヘルプ約２９０時間）

（2）訪問活動及び居宅介護計画

障害者自立支援法の根幹である自己選択と自己決定を推進するため、利用者の状況を把握するとともに、本人の意思を聞き取り、支援の内容に反映出来るようニーズに沿ったサービスを心がけ、居宅介護計画書の作成と充実に努めた。

（3）他機関との連携

児童８歳から高齢者８５歳までの利用者にサービス提供を行っている本会において関係機関との連携は必要不可欠である。保健センター、枚方保健所、家庭児童相談室、子ども家庭センター、枚方市障害福祉室、障害者施設、訪問看護連絡会、障害者地域生活支援センター、枚方市高齢社会室、枚方市地域包括支援センター等様々な機関と連携し、利用者の福祉の向上を目指した。また、必要に応じてサービス調整会議等も行った。

（4）会議および研修会の開催及び参加

サービスの一層の向上と充実を図るため、各種会議の開催および関連会議等へ参加した。

①内部会議の開催状況

＊サービス提供責任者会議は、情報交換、ケース会議、ケースの派遣調整等やサービスの質の均一化・向上を目的に月に１回実施した。

＊契約職員定例会議は業務上全員揃うことが困難なため、月に２回実施し、いずれかに出席を促し、連絡調整やケースの情報交換、研修等を実施した。

＊業務改善委員会は月１回実施。正規職員・契約職員の代表者で構成し、全体的な業務の見直しや職員の稼働状況や環境の整備、質の向上、また、居宅介護のあり方や今後の方向性等について検討を行った。

＊自主介護実習を月１回実施し、介護技術を学ぶ機会を提供し、質の向上を目指した。

②枚方市障害福祉サービス事業者連絡会への参加

枚方障害福祉サービス事業所連絡会の円滑な運営のため月１回役員会、年６回の全体会に参加。本会はこの組織の役員を担い、国・府の障害福祉サービスの動向と現状・課題等を見据え、居宅介護事業の適正な運営、事業所のあり方や職員の資質の向上に努めた。

③外部研修会への参加

＊枚方市介護支援専門員連絡協議会への参加

介護支援専門員においては月１回行われる枚方市介護支援専門員連絡協議会に参加し、質の向上を図った。

＊サービス提供責任者においては他機関の実施する研修会等へ積極的に参加した。

＊精神障害者ガイドヘルパー養成研修会

精神障害者へのホームヘルプの実施にあたって専門研修である精神障害者ガイドヘルパー養成研修会の受講を必須としており、今年度はホームヘルパーが１人受講した。

④ホームヘルパー現任研修会

ホームヘルプ事業の一層の向上と充実を図るため、障害者自立支援法の運営基準に則って実施するヘルパー現任研修会を下記のとおり開催した。

月　日	場　所	内　　容	出席数
9/15	ラポールひらかた	「ホームヘルパーの職業倫理」 講師：大阪コミュニティワーカー専門学校長水口氏 大阪キャリア形成事業所支援事業による講師派遣	１３人
8/24	ラポールひらかた	「在宅生活について　」～当事者の立場から～ 講師：森園陸司氏　吉田和弘氏	３０人
2/20	ラポールひらかた	「近い？遠い？サービスをめぐる利用者と介護者の関係性」 講師：障害者自立生活センター・スクラム 姜　博久氏	２９人

13. 移動支援事業

障害者自立支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業（ガイドヘルプ事業）を実施した。

余暇活動、施設や作業所及び習い事への送迎・付き添い、地域活動支援センターへの送迎・付き添い、ショートステイ施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを年間通じて行った。事業所は第２日曜日を除く９時から２０時まで（日曜日は１７時３０分まで）開所し、コーディネートを中心に利用者からの相談、ヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。また、ヘルパーの業務内容が外出支援であるため、リスク管理を含めた緊急事態に対応できる体制を整えた。閉所時間帯には、緊急連絡用携帯電話で担当職員が対応し、事業所として利用者の安心と安全、サービスの質の向上に努めた。また、行政と事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

（1）利用者状況

①利用（契約）状況

移動支援事業では、新規契約者は１７人(身体２人・知的１３人・児童２人)。解約者は２人でその内訳は死亡および、移動支援サービス申請の取り下げによるものである。３月現在、３８９人で契約者が大幅に増加している。そのうち、月平均、２３３人の契約者が利用しており、約１５０人は、契約のみで利用には至っていない。本会への契約希望者も多いが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため　緊急の場合を除いて新たな契約を制限している。結果、３月末で１９人が契約待機状態となっており、移動支援の利用のニーズの高さが伺える。また、精神障害の契約者はいないが、知的障害との重複者については知的障害者に含めている。また、女性利用者１５７人で、男性利用者２３１人と圧倒的に男性が多い。ヘルパーについては広報活動の効果もあり、女性２５５人、男性７８人、全部で３３３人の登録者となっている。中高年の男性について比較的多く確保でき、同性介護のニーズに応えることができるようになってきた。契約者の多様なニーズに応えるためには、若年層等、幅広い人材の確保が課題である。

（単位：人）

月	移　動　支　援　事　業				合　計
	身体障害者	知的障害者	児　童	精神障害者	
4	１４	３２８	３４	0	３７６
5	１４	３２９	３４	0	３７７
6	１４	３２９	３４	0	３７７
7	１４	３３０	３４	0	３７８

８	１４	３３０	３４	０	３７８
９	１４	３３２	３４	０	３８０
１０	１４	３３２	３４	０	３８０
１１	１４	３３３	３４	０	３８１
１２	１５	３３３	３４	０	３８２
１	１６	３３４	３４	０	３８４
２	１７	３３５	３５	０	３８７
３	１７	３３７	３５	０	３８９

② 利用時間

枚方市は全ての人が地域で豊かに暮らすことを目指して居宅介護や移動支援事業等を中心とする在宅福祉を中心として充実させてきた経過があり、なくてはならない制度である。市町村事業である移動支援事業は、使いやすい制度でもあり、利用時間数は枚方市内において年々増となっている。本会においても、利用時間は増加し続け、今年度利用時間は、５５２６０時間で月平均４６０５時間となった。昨年度と比較して、年間で４１８５時間、月約３４９時間の増、一昨年と比較すると月平均７１８時間の増となり、著しく増加していることが分かる。１ 人あたりの利用時間は約１９．７時間で、昨年、一昨年の１９時間とほぼ同じであることから、利用者数の増加ということが見て取れる。

特に施設・作業所等の通所送迎は毎日のことであるためコーディネート業務が非常に煩雑であるが、スタッフの増員や効率的な運営等を行い、可能な限りのニーズに対応した。

(単位:時間)

移　動　支　援　事　業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月
４３４９．３	４６９８	４５８８	４７４７	４８８２．８	４４４５．８	４６８８．２
１１月	１２月	1月	2月	3月	合　　計	月平均利用時間
４６７９．３	４６２３．５	４４６１	４４４６	４６５１．５	55260.4	４６０５

（2）移動支援計画

障害者自立支援法の根幹である自己選択と自己決定を推進するため、利用者の状況を把握するとともに、本人の意思を聞き取り、支援の内容に反映出来るようニーズに沿ったサービスを心がけ、移動支援計画書の作成と充実に努めた。

（3）関係機関との連携

移動支援事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという認識から関係機関との連携を積極的に行った。主な機関として枚方市障害福祉室・枚方保健所・地域生活支援センター、知的障害者施設、居宅介護事業所等と連絡調整や情報交換、ケース会議等を開催したり、必要のあるケースについてこれら関係機関につないだ。

（4）会議および研修会の開催及び参加

①内部会議の開催状況

・サービス提供責任者会議は、月に１回行い、情報交換、ケース会議、ケースの派遣調整等やサービスの質の均一化・向上を目的に実施した。

・ガイドヘルパーケース会議

サービスの質の向上とよりよい支援を提供するため、複数のガイドヘルパーがかかわっているケース等について情報提供も含め、必要に応じて行った。

②外部研修会への参加

サービス提供責任者においては、現任研修会の参加に加え、他機関の実施する研修会等に参加し、支援の充実を図った。

③ガイドヘルパー現任研修会

移動支援事業の一層の向上と充実を図るため、ガイドヘルパーに対して障害者自立支援法の運営基準に則って実施するヘルパー現任研修会を開催した。

月　日	場　　所	内　　容	出席数
12/20 1/18	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「枚方市のガイドヘルプの現状・・そして今後」 講師：NPO法人　陽だまりの会理事長　河野和永氏 NPO法人　ﾊﾟｰｿﾅﾙｻﾎﾟｰﾄひらかた理事長　長尾祥司氏	１０８ 人 ５７人
3/17	ラポールひらかた 研修室１	テーマ：「支援センターゆいのめざすもの」 講師：地域支援センターゆい所長　鳴　智子	３８人

１４．総合福祉センター管理運営事業

枚方市総合福祉センターは、老人福祉部門と市民福祉部門からなる総合福祉施設の機能を生かし、高齢者や市民の生きがいと健康増進及び市民各層、各種団体の交流を図ることを目的に趣味の講座や各種事業を行うとともに、高齢者や市民の自主活動の支援のため施設利用の促進を行った

（1）開所日数及び利用証発行件数　　（単位：日、件数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	23	24	27	308
利用証発行件数	819	181	78	65	85	59	72	41	48	44	79	48	1,619

※利用証発行内訳（高齢者　1,324、市民　187、作業所　108）

（2）使用許可申請状況　　（単位：件、人）

老人福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
大広間	392	9,307
機能回復訓練室	1,232	15,064
和室１	285	2,732
和室２	616	4,975
和室３		
会議室１	333	3,820
会議室２		
会議室３	397	3,736
会議室４		
浴室（男）	103	2,185
浴室（女）	103	2,484
図書室	616	937
体育室	1,578	37,177
１階ロビー	929	11,521
計	6,584	93,938

市民福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
講座室	523	17,798
料理教室	203	2,853
和室４	393	5,431
和室５		
和室６		
保育室	9	485
会議室５	369	4,824
会議室６	384	5,701
茶室	80	885
２階ロビー	616	2,533
グラウンド	566	6211
計	3,143	46,721

老人作業所		
室名	件数	利用者数(延)
老人作業室	480	4,465

（3）講座開催状況　　（単位：日、人）

講座・講習会名	延開講数	延受講者数	講座・講習会名	延開講数	延受講者数
趣味の講座 水彩画講座	10	190	市民講座 すっきりｽﾄﾚｯﾁ&健康運動	7	143
〃絵手紙講座	10	199	〃フラダンス講座	10	216
〃すっきりｽﾄﾚｯﾁ&健康運動	10	180	〃ﾙｰｼｰﾀﾞｯﾄﾝ講座	10	133
〃編み物講座	10	206	〃料理講座A	6	108
〃ﾙｰｼｰﾀﾞｯﾄﾝ講座	8	129	〃料理講座B	6	107
世代間交流行事 小学生と料理ｼﾆｱｸﾞﾙｰﾌﾟ	1	22	〃ビーズ講座	2	20
			文化体験行事 狂言鑑賞	1	83
介護・福祉・健康講座	3	142			
ビリヤード初心者講習	4	4	〃茶道体験	1	180
ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞ体験講座	1	25	ロビーコンサート	1	65
			計	101	2,152

（4）バス送迎状況

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数
4	252	2,766	8	250	2,570	12	242	2,546
5	250	2,704	9	252	2,974	1	222	2,579
6	252	2,838	10	260	3,282	2	232	2,731
7	262	2,886	11	242	2,794	3	262	3,229
						計	2,978 回	33,899 人

福祉バス利用回数		利用人数	車いす
高齢社会室	60	1,741	8
障害福祉室	16	398	44
ラポール	25	671	23
地域福祉課	28	817	24
合計	129	3,627	99

（5）老人福祉センター等事業報告

内　容	実　績	件　数
生活及び健康に関する相談	生活相談（開設日 308 日）4 人 なんでも相談（開設日 12 日）51 人 健康相談（開設日 308 日）　5,258 人	5,313 人
生業及び就労のための指導	開設日３０８日	1 人
機能回復訓練の実施	ヘルストロン　延 9,806 人 健康体操（火～土曜日実施）　延 3,219 人	13,025 人
教養講座の実施 ※市民福祉センター事業、老人作業所事業で実施した講座等も含む	趣味の講座　５講座　４８回 市民講座　６講座　４１回 文化体験行事（狂言鑑賞・茶道講座）　２回 世代間交流行事（小学生と料理ｼﾆｱｸﾞﾙｰﾌﾟ）　１回 介護・福祉・健康講座　３回 ビリヤード初心者講習会　４回 ノルディックウォーキング体験講座　１回	延　904 人 延　727 人 延　263 人 22 人 142 人 延　4 人 25 人

	ロビーコンサート（ハンドベル）　1回	65人
老人クラブに対する援助	福祉バスの運行	60回

（6）運営委員会開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数
3／29	総合福祉センター	・委員長の選任について ・平成２２年度事業報告について ・平成２３年度事業計画について ・平成２２年度利用者アンケート結果報告	７人

（7）啓発活動状況

＊機関紙『ふれあいステーションの発行

第７７号2,105部（7／10）、第７８号2,105部（11／10）を作成しセンター利用者・関係機関・団体・施設等に配布。

＊館内情報紙『センターだより』の発行　　毎月発行　各５００部

＊各種事業の案内・・・社協だより、広報ひらかた、ホームページ等

＊啓発用パンフレット配布・・・一般・関係機関

＊同好会活動の活性化

・受付で、センターでの活動希望者に同好会活動を紹介

・同好会参加募集の依頼に応じ、掲示板で紹介

（8）利用者アンケートの実施

＊利用者アンケート　　１月２５日～２月２４日　　協力者数８９３人

（9）職員研修の実施

６月２８日　接遇・人権研修、受付職員研修

１２月１５日　胸骨圧迫・心臓マッサージ・ＡＥＤ講習会

15. くすの木園(生活介護)管理運営事業

本会が、くすの木園の運営を受託して３０年の節目を迎えた。この間、培ってきた施設運営の実績と経験を基にして、通所利用者の日中活動の支援を行った。

今年度の大きな変革点としては、平成２３年１月に障害者自立支援法による生活介護事業所へ移行したことがあげられる。移行による介護給付費の増額に伴い、サービス管理責任者、看護師を含め、４人の職員の増員が可能となり、きめ細かな支援が行えると共に安定した事業運営となった。また、事業所のより良い運営を目指し、職員及び、管理者の質の向上を図るため、福祉サービス第三者評価システム推進支援会議・大阪によって認証された評価機関である（有）リファレンスによる評価を受けた。評価結果としては、運営面や利用者対応において高い結果が得られた。

利用者と支援者は対等な立場であることを踏まえ、個々の意思・個性を尊重し、利用者一人ひとりが地域で円滑な日常生活を営めるように、家族・地域・関係機関等と連携を図りながら、日中活動の計画的な実施及び、適切な支援に努めた。基本方針は次の通りである。

１．利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な指定施設支援の提供に努める。
２．利用者の自立と社会経済活動への参加を促進する観点から日中活動の支援を行う。
３．利用者の社会自立を推進するために、一人ひとりのニーズに応じた支援を計画的・継続的・統合的に行う。

４．「完全参加と平等」の理念に基づき、障害の有無を問わず人は生まれながらに平等であり、社会・経済・生活上差別されない権利を有することを広く市民に啓発する。
５．障害のある人が価値ある市民生活や諸活動を営むことができるように関係機関や地域との連携を図るとともに、地域環境の整備について提言に努める。

平成２２年度の開所日数は２５４日、平均利用率は８８．８％であり、昨年度と比べると若干の低下があるが、長期欠席者が数名あったことが要因と思われる。

施設の運営面においては、作業室間仕切りおよびカーテンの新調、厨房ガスコンロ取替え等、設備の修理・保全を行い安全で快適な日中支援の提供ができるよう改善を行った。

①利用者状況　（平成２３年３月３１日現在・在所者３５人）

（ア）年齢別の状況　（単位：人）

年齢	20歳未満	20歳以上～25歳未満	25歳以上～30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	０	１２	８	３	２３	２５．２歳
女	０	５	３	４	１２	２７．９歳
計	０	１７	１１	７	３５	２６．１歳

（イ）在所年数の状況　（単位：人）

	２年未満	２～３年未満	３～４年未満	４～５年未満	５年～	計
男	０	１	３	０	１９	２３
女	０	０	４	０	８	１２
計	０	１	７	０	２７	３５

（ウ）利用前の状況　（単位：人）

年度／出身	～H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	計
支援学校	6	3	5	4	0	6	1	0	２５
作業所	2	0	0	0	1	0	0	0	3
在　宅	1	3	0	1	0	0	0	0	5
他施設	0	2	0	0	0	0	0	0	2
計	9	8	5	5	1	6	1	0	３５

②障害の状況

（ア）療育手帳判定　（単位：人）

判定／性別	Ａ	Ｂ１	Ｂ２
男	２３	０	０
女	１０	２	０
計	３３	２	３５

（イ）障害程度区分　　（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6
男	0	0	2	3	8	１０
女	0	0	2	2	4	4
計	0	0	4	5	１２	１４

③月別在所者数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3
在所者数(人)	３６	３６	３６	３６	３６	３６	３６	３６	３６	３５	３５	３５
開所日数(日)	２２	２０	２２	２２	２０	２２	２２	２２	２１	１９	２０	２２
在所者数×開所日数(日)	792	720	792	792	720	792	792	792	756	665	700	770
延利用数(人)	716	659	745	716	639	698	675	676	655	586	613	684
出席率(%)	90.4	91.5	94.1	90.4	88.8	88.1	85.2	85.4	86.6	88.1	87.6	88.8

（年間開所日数　２５４日　年間平均出席率　８８．８%）

④年間行事の実施状況

月	日	行　　事	保護者会	土曜開所
4	1（木）	入園式・新年度事業説明会	4月　1日（木）	4月１７日
5	１２（水）	交流会	5月１２日（水）	5月１５・２９日
6	6（日）	ふれあいフェスティバル（自由参加）	6月１５日（火）	
7	１０（土）	スポーツ交流会（保護者参加日）	7月　7日（水）	7月１７日
	１２（月）	スポーツ交流会代休		
8	9（月）	Ⅰ期終業日		8月７・２８日
		夏休み　８／１０（火）～１３（金）		
	１６（月）	Ⅱ期始業日		
9	１０（金）	宿泊会　9/10～9/11	9月　8日（水）	9月４・２５日
１０	２２（金）	くすの木まつり準備（代休）	１０月　6日（水）	１０月２・９日
	２３（土）	くすの木まつり		
１１	5（金）	第１回　外出活動Ⅰ班	１１月１０日（水）	11月２０・２７日
	１２（金）	第１回　外出活動Ⅱ班		
	１５（月）	参観日		
	１６（火）	参観日		
	１９（金）	第１回　外出活動Ⅲ班		
１２	１９（日）	ジョイフルクリスマス（自由参加）	１２月　8日（水）	12月１１・１８日
	２４（金）	クリスマスパーティー		
	２８（火）	Ⅱ期終業日		
		冬休み１２／２９（水）～１／５（水）		
1	6（木）	Ⅲ期始業日	1月１９日（水）	1月８・２２日

2	1（火）	参観日	2月23日（水）	2月19日
	2（水）	参観日		
	4（金）	第2回　外出活動Ⅰ班		
	18（金）	第2回　外出活動Ⅱ班		
	25（金）	第2回　外出活動Ⅲ班		
3	3（木）	一 泊 旅 行　3/3（木）～3/4（金）		3月12・19日
	25（金）	年度末パーティー		
	29（火）	Ⅲ期終業日		
		春休み　3／30（水）、31（木）		

⑤くすの木園運営懇談会の開催状況

月　日	場　所	内　容	出席数
2／28（月）	枚方市立くすの木園	・くすの木園の現状と平成22年度の取り組みについて ・くすの木園の課題と今後について ・利用者の意見発表	15人

⑥作業収入集計表　（単位：円）

月	牛乳パック	箱作業	もぎり	染め紙はがき	チューブ	空き缶作業	ふれあいﾌｪｽくすの木まつり他	計
4	2,604	6,800	3,940	500	75,261		43	89,148
5	2,772	8,782			36,627		13,088	61,269
6	2,772	8,365	4,940		26,947		6,830	49,854
7	2,856	18,363			20,460	30,450	1,020	73,149
8			3,940		28,900		43	32,883
9						47,040	6,825	53,865
10	6,700	4,563	980		47,079		170	59,492
11		1,050	5,220		5,685	26,400	510	38,865
12	2,772	6,230			4,738		82,563	96,303
1	2,016	3,000	2,000		13,366	24,360	850	45,592
2	2,604	4,400	2,500		17,253		11,093	37,850
3								
計	25,096	61,553	23,520	500	276,316	128,250	123,035	638,270

＊作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間14回に分けて利用者に支給している。

⑦ボランティアの協力状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	20	24	29	24	16	30	119	33	39	26	19	16	395

１６．共同生活援助・介護事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぽぽ」の４カ所の運営を行った。ケアホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。利用者が地域生活をより豊かにするため、社会資源等（地域の書道教室、絵画教室、将棋教室等への参加、ガイドヘルパーとの外出等）を活用し、余暇活動の充実を図った。生活上、様々な問題については、必要に応じて生活支援員の配置や関係機関と連携を図りながらケース会議等を行い対応した。またケアホーム４ヶ所の世話人の連携を強化することや内部研修として他のケアホームの実習を実施した。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会」を中心的に担い、枚方市内のケアホーム運営事業者と情報交換等により連携を深めると共に、地域移行利用者の受け止め等について意見交換を行った。また市内世話人を対象に「ケアホーム・グループホーム世話人研修会」を企画して「知的障害の理解と支援のあり方」と「ケアホーム・グループホームの支援のあり方を学ぶ」をテーマに２回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。今年度同会にて「ケアホーム・グループホームの現状と課題について」のまとめを作成し、障害者自立支援協議会へ提出した。また、今年度については、より良いサービスの提供を目指して第三者評価機関による、福祉サービス第三者評価を実施し、比較的高い評価を得ることができた。この評価を通して、利用者の意見を聞きとることができ、支援の向上につながった。

① 地域支援センターゆい世話人研修

項　　目	回　数	人　数	内　　容	場　　所
世話人初任者研修	９回	延べ ９人	世話人の支援のあり方 （現地実習）	各ケアホーム
世話人内部研修	６６回	延べ ２５４人	利用者の支援について 個別支援計画等	各ケアホーム
世話人外部研修	３回	延べ １７人	枚方市ケアホーム世話人 研修会 AED講習会	ラポールひらかた 総合福祉センター

②枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 世話人研修

開　催　日　時	研　修　内　容（場　所）	参　加　人　数
平成22年11月20日	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「知的障害の理解と支援のあり方」 講師：幸田　有史氏	８８名
平成22年3月25日	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「ケアホーム・グループホームの支援のあり方を学ぶ」 講師：石田　智子氏	７９名
合　　計		１６７名

17. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し、障害のある人の自立と社会参加を図った。ふれあいスポーツ交流会は実行委員会を設立して、市内の知的障害者関係機関等の

協力を得ながら、知的障害のある人本人の実行委員とサポーターで企画・準備を進めてきた。今大会より新しい競技を取り入れていくこととなった。当日は１２団体と個人参加者併せて３８０人の参加があり、大きな成果があった。ジョイフルクリスマス会についても定員である１００人を越える申し込みがあり大盛況のうちに終えることができた。

事　業　名	開催月	参加者数	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	内　　容
ふれあいスポーツ交流会（障害のある人）	年１回 7／10（土）	３８０人	108人	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計６回	実行委員１２人		実行委員会参加団体 １２団体
ジョイフルクリスマス会（障害のある人）	年１回 12／19（日）	１０８人	13人	レクリエーション行事 メセナひらかた

18. 障害児等療育支援事業

障害のある人やその家族の地域生活を支援することを目的として、訪問や外来の相談支援活動を中心に実施した。事業内容は訪問支援事業、外来相談支援事業、施設指導支援事業の３項目で行い、利用者のニーズに応じて柔軟に実施した。多様な利用者への対応を行うため、市内の福祉サービスや関係機関と連携しながら相談支援を行った。また市内の知的障害者関係機関の職員を対象として「施設のあり方・支援のあり方」をテーマに人権研修を開催、多くの参加があった。

（1）障害児（者）等療育支援事業（事業名は府事業名）　　（単位：件）

	訪問支援事業	外来相談支援事業	施設指導支援事業
4月	6	7	0
5月	4	１０	1
6月	4	7	3
7月	4	7	1
8月	4	7	1
9月	5	7	1
10月	5	6	1
11月	5	7	3
12月	5	9	1
1月	5	8	2
2月	4	9	1
3月	１１	8	2
合　計	６２	９２	１７

（2）枚方市知的障害者福祉ネットワーク 研修会

開　催　日　時	研　修　内　容（場　所）	参　加　人　数
平成23年1月19日	枚方市知的障害者福祉ネットワーク研修会 テーマ「施設のあり方・支援のあり方」 講師：大阪府立大学准教授 三田　優子 氏	６８人

19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業

父親が就労等により不在のため、円滑に日常生活を営むことに支障がある父子家庭に対し、父子家庭生活支援員を派遣して、父子家庭の生活向上に努めた。平成２２年度は当初３ケースでスタートしたが家庭の事情で４月に終了となり実質２ケースのみの支援となった。また、２ケースのうち１件は６年生ということもあり途中より週１回の訪問となり３月末で終了した。新規ケースについては打診があったものの、利用条件が合わず支援に至らなかった。

派遣状況

件　数	派遣延べ回数		内　　容
３件	午前８時～午後６時	４回	児童の保育、住居の掃除、身の回りの世話、食事の世話など
	午後６時～10時	１１５回	
	午後10時～午前６時	０回	
合　計		１１９回	

20. 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは、介護保険法の介護予防支援を図るため、地域生活圏ごとに設置された。地域包括支援センター１３か所の内、本会は第１圏域（社協こもれび）と第２圏域（社協ふれあい）を担当した。保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士の３専門職を配置し、要支援の利用者プラン作成、特定高齢者への地域支援事業のほか、介護支援専門員や介護サービス事業所の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、権利擁護・成年後見・高齢者虐待対応、地域社会資源の開発やネットワーク化に取り組んでいる。具体的には、（1）介護予防プラン作成、（2）総合相談、（3）各種事業（介護予防普及啓発・地域懇談会・地域介護予防活動支援・その他の取り組み）の実施、（4）地域包括支援センター関係会議を以下のとおり実施した。また、くずは地域懇談会（地域ケア会議）は２センターが連携し継続して行い、３月には認知症サポーター養成講座と発達障害をテーマとした講演会を実施した。また、「気になることありませんか事業」を始め、くずは地域の埋もれた要援護者を発見するきっかけづくりを行った。

社協こもれびでは、各校区の民生委員児童委員や居宅介護事業所、訪問介護事業所等と懇談会を開催し、高齢者が地域で安心して暮らせるよう「高齢者を地域で支えるネットワークづくり」をテーマに意見交換、情報を共有するとともに、困難事例の対応についても意見交換し、連携の強化を図った。また、医療機関にて「待合室懇談会」や「出前講座」を開催、新たな医療との連携を図った。

社協ふれあいでは、牧野校区地域ケア懇談会を発足し、医療、福祉、地域関係者の間で高齢者の課題を共有し、継続しての開催することを確認する。また、事業所懇談会を開催し、消費者被害についての実態と予防についての情報提供を行う。その他、地域包括支援センターの特性を生かし、「出前教室」と題して、地域に出向き、介護予防や権利擁護の講話や認知症サポーター養成講座を開催した。

（1）介護予防プラン作成

①要支援者

第１圏域（社協こもれび）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	119	113	114	109	114	115	115	116	116	127	126	128	1412 人
委託	58	57	59	64	61	56	60	70	63	66	62	67	743 人
月計	177	170	173	173	175	171	175	186	179	193	188	195	2155 人

第２圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	107	116	118	122	128	127	130	138	133	132	136	140	1527 人
委託	58	59	58	58	61	58	59	58	67	72	71	69	748 人
月計	165	175	176	180	189	185	189	195	200	204	207	209	2275 人

②特定高齢者

第１圏域（社協こもれび）

介護予防プラン調査分　１件

介護予防プラン作成分　１件

第２圏域（社協ふれあい）

介護予防プラン調査分　０件

介護予防プラン作成分　０件

（2）総合相談

第１圏域（社協こもれび）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	49	28	49	39	33	48	42	47	29	51	35	46	496 件
来所	21	23	18	18	8	30	22	24	14	20	17	30	245 件
訪問	5	11	9	7	8	11	3	6	7	6	4	14	92 件
その他	0	1	0	1	2	6	9	20	2	11	3	3	59 件
月計	75	63	76	65	51	95	76	97	52	88	59	93	892 件

第２圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	57	31	44	44	46	94	92	101	60	67	80	71	787 件
来所	18	18	22	20	16	28	24	25	18	34	17	25	265 件
訪問	12	15	24	7	6	27	32	40	34	26	18	16	257 件
その他	11	2	5	2	0	3	6	4	5	3	3	5	49 件
月計	98	66	95	73	68	152	154	170	117	130	118	117	1358 件

＊新規・継続を含めた件数。

（3）各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）社協こもれび

月　日	場　所	内　　容	出席数
4/17	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ演奏・合唱、包括支援センター説明）	１３５人
5/22	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（アコーディオン・ピアノ）	９２人

6/19	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ）	１０４人
7/17	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ギター）	９０人
8/21	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ピアノ）	８９人
9/18	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ）	９５人
10/16	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ピアノ・ヴァイオリン）	１０１人
11/20	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ）	８０人
12/18	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ピアノ）	８４人
1/15	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ）	８２人
2/19	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ハーモニカ）	９３人
3/19	楠葉生涯学習市民センター	ハートフルタイム（ピアノ・ヴァイオリン）	９８人

②介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）社協ふれあい

月　日	場　所	内　　容	出席数
9/12	牧野小学校内アスティ	ご存知ですか？お口の手入れ	４８人
9/17	センチュリーマンション	センチュリーふれあいサロン共催・腰痛予防教室	４７人
11/18	牧野生涯学習市民センター	バランスの良い食事とお家で簡単介護予防運動	２５人
2/28	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室	７人

③くずは地域懇談会（社協こもれび　社協ふれあい共通）

月　日	場　所	内　　容	出席数
6/3	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	８人
7/1	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	１９人
9/28	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	７人
10/29	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	１９人
1/7	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	６人
2/3	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	１９人
3/9	楠葉生涯学習市民センター	「地域で生きる」 ・認知症サポーター養成講座 ・講演会（発達障害のある人の課題とその理解）	 ４９人 ６５人

④事業所懇談会等

第１圏域（社協こもれび）

月　日	場　所	内　　容	出席数
7/8	楠葉生涯学習市民センター	くずは発・こころ豊かな収穫祭実行委員会	２０人
9/22	社協こもれび	樟葉校区民生委員との懇談会	１３人
9/15	楠葉生涯学習市民センター	くずは発・こころ豊かな収穫祭実行委員会役員会	６人
10/13	楠葉生涯学習市民センター	民生委員・事業所懇談会	３９人
11/11	社協こもれび	訪問介護事業所懇談会	１３人
11/25	社協こもれび	樟葉北校区民生委員との懇談会	１４人
12/4	楠葉生涯学習市民センター	くずは発・こころ豊かな収穫祭実行委員会	１０人
1/18	社協こもれび	樟葉南校区民生委員との懇談会	１４人
1/20	かわむらのりこクリニック	待合室懇談会（医療機関と居宅介護事業所懇談会）	８人
2/15	社協こもれび	訪問介護事業所懇談会	１２人

第２圏域（社協ふれあい）

月　日	場　所	内　　容	出席数
5/24	センチュリーマンション６番館１階集会室	樟葉西小学校区　民生委員と高齢者支援事業所との意見交換会（２０名参加）	２０人
5/25	社協ふれあい	牧野小学校校区　民生委員と高齢者支援事業所との意見交換会（２８名参加）	２８人
10/21	社協ふれあい	事業所懇談会～医療との連携	３１人
2/22	社協ふれあい	事業所懇談会～高齢者被害について	１８人
3/15	社協ふれあい	平成22年度第１回地域ケア懇談会	１８人

⑤地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第１圏域（社協こもれび）

月　日	場　所	内　　容	出席数
4/28	二ノ宮公園	北船橋町・船橋２丁目老人会　健康体操他	２８人
6/5	北船橋町集会所	樟葉南校区いきいきサロン　生活習慣病・体操	２８人
7/20	楠葉野会館	樟葉校区いきいきサロン　ひらかた体操他	４５人
8/28	あさみ集会所	樟葉南校区いきいきサロン　生活習慣病・体操	４９人
10/27	楠葉丘２丁目集会所	樟葉北校区いきいきサロン　地域包括・認知症	１８人
10/28	メセナひらかた	ひとり暮らし老人会Ａブロック交流会　脳トレ	１００人
11/1	杉中学校（２年生）	認知症サポーター養成講座	４０人
11/19	野田北集会所	樟葉北校区和楽会出前講座	２７人
11/27	谷口内科	出前講座　介護保険制度について他	１５人
12/22	楠葉生涯学習市民センター	民生委員児童委員樟葉地区委員会	５１人
3/18	中楠葉集会所	樟葉北校区ひとり暮らし老人会　脳トレ	３１人

第２圏域（社協ふれあい）

月　日	場　所	内　　容	出席数
5/2	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談３件）	３０人
6/6	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談６件）	３０人
7/4	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談６件）	３０人
7/23	センチュリー４番館１階集会所	認知症の対応について	２０人
8/1	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談１件）	３０人
9/5	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談２件）	３０人
9/12	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談２件）	３０人
10/17	樋之上住宅集会所	認知症サポーター養成講座	２７人
10/24	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談３件）	３０人
10/25	ラポール２階集会室	小中学生向け認知症サポーター講座検討会	１５人
10/28	メセナひらかた	Ａブロックひとり暮らし老人会出前講座	９２人
11/1	杉中学校	認知症サポーター養成講座	３５人
11/7	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談４件）	３０人
11/10	牧野生涯学習市民センター	牧野地域老人会・緑栄会（相談３件）	１５人
11/14	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談０件）	３０人
11/16	京阪ライフサポートくずはケア	京阪ライフサポートケアマネ研修・成年後見について	１６人
12/5	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談０件）	３０人

12/10	楠葉並木集会所	並木老人会・むつみ会出前講座	１９人
12/12	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談７件）	３０人
1222	枚方市民会館会議室	認知症サポーター養成講座小中学生向け反省会	１５人
1/9	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談10件）	３０人
1/16	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談０件）	３０人
2/6	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談２件）	３０人
2/13	牧野北団地第１集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談５件）	３０人
224	グループホームはる	グループホーム連絡会	１２人
3/6	牧野北団地第２集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談２件）	３０人

（４）地域密着型サービスの運営推進会議

グループホーム「はる」の運営推進会議に出席（６回開催）。また、第１～４圏域グループホーム連絡会に出席（３回開催）。

（５）地域包括支援センター関係者会議

市内１３か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会を実施し、担当者が参加した。また、枚方市地域包括支援センター運営協議会に出席し、包括の活動報告を行った。

21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

枚方市からの委託により、北部（地域包括支援センター社協こもれび内）、中・南部（ラポールひらかた内）、東部（地域支援センターゆい内）に「いきいきネット相談支援センター」を開設。

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④市町村への情報提供に取り組んだ。特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、又はその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、民生委員児童委員の地区委員会や当事者の集い、校区福祉委員会が開催するサロン等に出席し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、地域の要援護者の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを行った。また、地域福祉推進のため、関係機関と連携して研修会等を開催した。

（１）ＣＳＷ事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

①ＣＳＷ配置促進事業連絡会（枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会）
②ＣＳＷ定例会
③枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議
（枚方警察署、枚方保健所、枚方寝屋川消防組合、枚方市地域包括支援センター１３か所、枚方市いきいきネット相談支援センター５か所、枚方市高齢社会室）
④枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
⑤地域ケア会議
⑥ひきこもり枚方地域ネットワーク会議
⑦府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

（２）要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向

けて取り組んだ。

①個別相談件数について

（北部）

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	７３	４４	
（うち）１人暮らし高齢者	４１	２３	
（うち）高齢者のみの世帯	３２	２１	
障害者	２５４	８１	
（うち）身体障害者	４３	１１	
（うち）知的障害者	５３	２１	
（うち）精神障害者	１５８	４９	
子育て中の親子	７８	３８	
一人親家庭の親子	４３	１６	
青少年	２２	１	
ＤＶ被害者	８	３	
ホームレス	０	０	
外国人（中国帰国者を含む）	２	１	
その他	１４３	５８	
合　計	６２３	２４２	１４２

＊内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	１５９	７３
生活に関する身近な相談	１１２	７６
健康・医療に関する相談	１０９	４２
生活費に関する相談	１４６	４６
就労に関する相談	９３	３１
財産管理・権利擁護に関する相談	６２	２９
消費者被害に関する相談	１５	６
多重債務に関する相談	８	５
ＤＶ・虐待に関する相談	３１	７
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	８３	６２
住宅に関する相談	４１	２８
子育て・子どもの教育に関する相談	６３	４６
その他	５９	４４
合　計	９８１	４９５

（中部）

＊対象者別

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	９１	４６	
（うち）１人暮らし高齢者	５６	３０	
（うち）高齢者のみの世帯	３５	１６	
障害者	１９３	７４	
（うち）身体障害者	２１	８	
（うち）知的障害者	４１	２３	
（うち）精神障害者	１３１	４３	
子育て中の親子	８２	３５	
一人親家庭の親子	３１	１７	
青少年	２５	８	
ＤＶ被害者	３３	１０	
ホームレス	０	０	
外国人（中国帰国者を含む）	３	１	
その他	５０７	１９８	
合　計	９６５	３８９	１２７

＊内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	１８２	８０
生活に関する身近な相談	１８７	７７
健康・医療に関する相談	１５７	６１
生活費に関する相談	１１３	５１
就労に関する相談	７６	４７
財産管理・権利擁護に関する相談	７１	４１
消費者被害に関する相談	１５	７
多重債務に関する相談	８	３
ＤＶ・虐待に関する相談	３７	１８
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	３９	２４
住宅に関する相談	５２	３３
子育て・子どもの教育に関する相談	６４	４３
その他	４９	３１
合　計	１０５０	５１６

（南部）

＊対象者別

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	９０	６１	
（うち）１人暮らし高齢者	５５	３５	
（うち）高齢者のみの世帯	３５	２６	
障害者	１３４	５３	
（うち）身体障害者	１９	１２	
（うち）知的障害者	３５	１６	
（うち）精神障害者	８０	２５	
子育て中の親子	６１	４５	
一人親家庭の親子	３０	２１	
青少年	１０	５	
ＤＶ被害者	１１	２	
ホームレス	２	２	
外国人（中国帰国者を含む）	０	０	
その他	５１９	１８１	
合　計	８５７	３７０	２１２

＊内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	９５	８６
生活に関する身近な相談	１０６	８２
健康・医療に関する相談	８５	４１
生活費に関する相談	５３	３８
就労に関する相談	５９	３２
財産管理・権利擁護に関する相談	１３	１２
消費者被害に関する相談	３０	１０
多重債務に関する相談	２５	１１
ＤＶ・虐待に関する相談	１１	２
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	２１２	１７０
住宅に関する相談	１０	８
子育て・子どもの教育に関する相談	５９	５１
その他	１４５	６５
合　計	９０３	６０８

（東部）

＊対象者別

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	１２３	５６	
（うち）１人暮らし高齢者	８７	２５	
（うち）高齢者のみの世帯	３６	３１	
障害者	１４５	９３	
（うち）身体障害者	１６	１５	
（うち）知的障害者	３１	２６	
（うち）精神障害者	９８	５２	
子育て中の親子	４３	２１	
一人親家庭の親子	３５	１９	
青少年	５	１	
ＤＶ被害者	４	３	
ホームレス	１	１	
外国人（中国帰国者を含む）	２１	９	
その他	５９６	２１７	
合　計	９７３	４２０	２０５

＊内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	１４７	８７
生活に関する身近な相談	２０６	１２９
健康・医療に関する相談	１０２	７６
生活費に関する相談	４７	２３
就労に関する相談	３５	１６
財産管理・権利擁護に関する相談	７６	２３
消費者被害に関する相談	３６	６
多重債務に関する相談	１０	３
ＤＶ・虐待に関する相談	９	３
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	１８７	１５６
住宅に関する相談	２３	８
子育て・子どもの教育に関する相談	３５	２４
その他	７４	３５
合　計	９８７	５８９

②グループホーム各地区連絡会に参加

③ケース検討会等を随時開催

（３）広報・啓発活動

＊ＣＳＷ事業の啓発を目的に出張相談会を開催

・福祉なんでも相談（ビオルネ枚方店）5／27・28・29、7／28、9／29、11／24、1／28、3／23

・総合福祉センター・いきいきネット相談支援センター（東部）・地域包括支援センター東香会、三者共催による何でも健康相談（総合福祉センター）･･･4／13、5／11、6／8、7／13、8／10、9／14、10／12、11／9、12／14、1／11、2／8、3／8

・枚方宿くらわんか五六市にて、いきいきネット相談支援センター事業の啓発コーナーを設置。・・・11/14、12/12、3/13
・校区で開催するサロンで、定例相談コーナーを設置。
・社協だよりにＰＲ記事掲載
・各校区福祉委員会発行の広報紙に「いきいきネット相談支援センター」、地域担当ＣＳＷのＰＲ記事を掲載
・活動報告、チラシ、パンフレット作成・配布

（4）研修会等への参加

・コミュニティソーシャルワークスキルアップ研修などに参加
　大阪府社協主催スキルアップ研修　12/20、2/4、3/11

22. 地域活動支援センター事業

「地域支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動（創作活動・生産活動・サロン等）を行った。創作活動は地域のボランティアを中心に書道教室や手芸教室等を実施すると共に、手話講座等の講座も実施した。生産活動では農作業を行い、収穫したさつまいも等で料理の企画も併せて行った。またセンター企画で花見や初詣などの外出活動も実施した。サロン活動では利用者の来所も増え、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用された。当センターの利用時間を１０時から１９時としていることや第１日曜日にラポールひらかたで開催していることで、就労している人や施設等に通っている人も気軽に利用でき、来所者の幅広い相談に対応することができた。

その他、自主的グループ活動（ジョイジョイサークル）への支援や機関誌ゆい通信の発行、「地域支援センターゆい勉強会」の開催も行い、センターの利用者数は昨年に比べ増加した。また「障害者自立支援協議会」「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」等に参加し枚方市障害福祉室や市内福祉サービス事業所等と連携を図り、市内の福祉サービスについての現状と課題についての学習会や情報交換を行った。

障害者相談支援事業では障害のある人の生活全般の相談を受け、地域住民や関係機関と連携を図りながら利用者ニーズに添った支援を行った。知的障害のある人からの相談が中心であったが、精神障害のある人や発達障害の人からの相談が増えてきている。今年度は来所での相談が増えたが、相談方法については訪問や電話相談また同行支援など柔軟な相談支援を行った。

日中一時支援事業は利用者の希望が多いが、定期利用者で予約が詰まっている状態。特に利用希望が多くなる学校の長期休暇期間においては短期契約職員を配置するなどの対応を行い利用者のニーズに応え、今年度利用者数が増加した。

【地域活動支援センター事業　Ⅰ型】

	基礎的事業			Ⅰ型事業		
	創作活動	生産活動	その他	医療･福祉及び地域との連携のための調整	地域住民･ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
4月	１００人	５人	３１２人	４回	６１人	１回
5月	７５人	１１人	３１７人	７回	５６人	
6月	９５人	１３人	３４２人	３回	４４人	
7月	１０６人	１１人	２６６人	５回	５７人	１回

８月	７９人	１２人	３３１人	４回	５５人	
９月	８８人	６人	３１９人	３回	４５人	
１０月	９８人	９人	３１８人	２回	６３人	５回
１１月	８３人	２４人	３１１人	７回	５７人	１回
１２月	８８人	８人	３２０人	７回	４４人	１回
１月	５９人	１１人	２８１人	４回	３１人	２回
２月	１０５人	１１人	３４３人	８回	５１人	回
３月	７９人	１０人	３９３人	９回	４９人	１回
合　　計	１０５５人	１３１人	３８５３人	６３回	６１３人	１２回

【ジョイジョイサークル活動・当事者の集い】

事　業　名	開催月	参加者数	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	内　　容
ジョイジョイサークル （月１回開催。市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動）	４月	２４人	５人	花見･ミーティング（年間計画）
	５月	２４人	５人	バーベキュー（穂谷）
	６月	３１人	３人	ミーティング（旅行について）
	７月	１６人	５人	スポーツ交流会参加
	８月	２８人	４人	ミーティング（旅行について）
	９月	３５人	７人	一泊旅行（福井県東尋坊）
	１０月	３８人	２人	ミーティング（外出について）
	１１月	２６人	５人	外出（嵐山・海遊館）
	１２月	２４人		ジョイフルクリスマス会参加
	１月	３０人	５人	私の主張・新年の集い
	２月	２９人	１人	ボーリング
	３月	２４人	１人	ミーティング（１年を総括）
当事者の集い「わたしの主張」	年1回（1月17日） 実行委員会（計３回）	５０人 １８人	４４人 １１人	本人討論会
合　計（延べ人数）		３９７人	９８人	

【地域支援センターゆい勉強会】

	参　加　者　数
１０月　３日（日） テーマ「お金の使い方討論会」 場所：ラポールひらかた	２８人
３月　６日（日） テーマ「どう使ってる？携帯電話・討論会」 場所：ラポールひらかた	１８人
合　計（延べ参加人数）	４６人

【日中一時支援事業】

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
利用者数	２３人	１９人	２５人	２３人	３３人	２３人	２０人	２２人	２８人	２６人	２８人	４０人	３１０人

【障害者相談支援事業】（平成２２年４月～平成２３年３月）

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
４月	４５人	５人	２１人	２６人	０人	２７人
５月	４４人	１１人	１５人	２０人	５人	５２人
６月	４７人	３人	２４人	１０人	５人	３７人
７月	２３人	４人	１８人	５人	４人	７人
８月	２０人	２人	１８人	９人	０人	１５人
９月	２１人	４人	１８人	５人	２人	１９人
１０月	２１人	３人	８人	３人	０人	１８人
１１月	３１人	１人	１０人	７人	１人	１２人
１２月	２０人	２人	１５人	７人	１人	１２人
１月	３１人	２人	１４人	１１人	３人	１９人
２月	４６人	１人	１７人	７人	６人	１３人
３月	３７人	７人	２６人	２人	５人	１７人
合計	３８６人	４５人	２０４人	１１２人	３４人	２４７人

	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
４月	１３人	６人	７人	５人	５人	０人
５月	１５人	１６人	１１人	２人	３人	０人
６月	１４人	５人	１６人	９人	４人	１人
７月	６人	５人	７人	２人	２人	０人
８月	７人	３人	５人	５人	０人	０人
９月	７人	２人	１０人	４人	１人	１人
１０月	４人	１０人	８人	８人	４人	１人
１１月	３人	５人	１２人	１０人	３人	０人
１２月	６人	２人	１０人	４人	６人	０人
１月	３人	３人	８人	４人	０人	０人
２月	８人	８人	１７人	１人	０人	０人
３月	３人	１２人	１４人	２人	０人	０人
合計	８９人	７７人	１２５人	５６人	２８人	３人

23. 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

市内に在住する生後４カ月までの乳児のいる家庭を対象に、子育て支援活動の経験がある訪問員が訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげることにより乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、平成２２年１０月より、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

（1）訪問件数　　（単位　人）

月	１０	１１	１２	１	２	３	計
出生者数	３０８	２９６	２８８	３２２	２３９	２９７	１，７５０
訪問家庭数	２７０	２２９	２６４	２７６	２１１	２５０	１，５００

＊訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

（2）訪問員について

・訪問員数　　４９人（平成２３年３月３１日現在）
・訪問員の要件　　保育士等の有資格者、または子育て支援活動の経験のある市民

（3）訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

①第Ⅰ期

月　日	場　所	内　　容	出席数
8／20	ラポールひらかた 研修室１	・オリエンテーション ・講演 テーマ：「現代の子産み子育て事情 ～こんにちは赤ちゃん事業について～」 講　師：大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部長　佐藤拓代　氏 ・乳幼児の利用できる子育て支援サービスについて ・地域の子育て支援情報について ・個人情報の保護について ・地域福祉活動と担い手について	４３人
8／23	ラポールひらかた 研修室１	・生後４カ月までの育児について ・子育ての現状と家族の背景について ・母子保健事業について	４１人
8／26	ラポールひらかた 研修室１	・個別訪問の際に、心がけること ～傾聴とコミュニケーション～ ・訪問の実際について（ロールプレイング） ・研修の振り返りと今後の予定について	４５人

②第Ⅱ期

月　日	場　所	内　　容	出席数
2／15	ラポールひらかた 研修室２	・オリエンテーション ・こんにちは赤ちゃん事業の概要について ・子育ての現状と家族の背景について ・生後４カ月までの育児について ・母子保健事業について	１２人
2／17	ラポールひらかた 研修室１	・個別訪問の際に、心がけること ～傾聴とコミュニケーション～ ・訪問の実際について（ロールプレイング） ・地域の子育て支援情報について ・個人情報の保護について ・地域福祉活動と担い手について ・研修の振り返りと今後の予定について	１３人

③実務研修会

現任訪問員を対象として、訪問家庭への実際の訪問を想定した実務的な説明会を開催。

月　日	場　所	内　　容	出席数
9／15	ラポールひらかた 研修室１	※実際の訪問を想定し、「訪問員活動のてびき」に基づき、具体的な説明会を開催。 ・訪問員の身分等について ・訪問の実際について ・訪問個表の記入について ・訪問個表の受け取りと提出について ・連絡会議の開催について ・相談員の配置について	３０人
9／16	ラポールひらかた 研修室１		１７人
3／18	ラポールひらかた 研修室２		５人
3／25	ラポールひらかた 施設長室		６人

④現任者研修会

訪問員（現任者）を対象に、訪問員としての知識の習得と資質のスキルアップを図ることを目的に開催。

月　日	場　所	内　　容	出席数
3／30	ラポールひらかた 研修室１	・訪問個表の記入について ・個人情報の取り扱いについて	２０人

（４）ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に開催。

◎ケース会議の構成

枚方市（子育て支援室、家庭児童相談所、保健センター）、社会福祉協議会

月　日	場　所	内　　容	出席数
11／15	ラポールひらかた 特別会議室２	・１０月度訪問実績について ・ケース検討について	１１人
12／15	ラポールひらかた 特別会議室１	・１１月度訪問実績について ・ケース検討について	１１人
1／17	ラポールひらかた 特別会議室１	・１２月度訪問実績について ・ケース検討について ・新規訪問員の募集と研修会の開催について	１１人
2／14	ラポールひらかた 研修室１	・１月度訪問実績について ・ケース検討について ・訪問員研修について	１１人
3／15	ラポールひらかた 特別会議室１	・２月度訪問実績について ・ケース検討について	１１人

（５）訪問員連絡会の開催

訪問員相互の懇談と事務連絡を目的に、訪問員を対象に連絡会を開催。

月　日	場　所	内　　容	出席数
10／28	ラポールひらかた 研修室１	・１０月度訪問を終えて ・相談員からのアドバイス	３０人
11／25	ラポールひらかた 研修室１	・１１月度訪問を終えて ・相談員からのアドバイス	２０人
12／27	ラポールひらかた 和室	・１２月度訪問を終えて ・相談員からのアドバイス ・保健センターからの情報提供について	１８人
2／25	ラポールひらかた 研修室２	・１、２月度訪問を終えて ・相談員からのアドバイス ・訪問員研修について	１８人
3／30	ラポールひらかた 研修室１	【現任者研修】 ・訪問個表の記入、個人情報の取り扱いについて ・情報交換	２０人

２４．総合福祉会館管理運営事業

（1）総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

①開館日数　（単位：日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日　数	29	30	29	30	30	29	30	29	28	26	27	30	３４７

②部屋別利用状況

ア）有料室　（単位：件）

室　　名	午　前	午　後	夜　間	合　　計	利用率(%)
研修室１	１８２	２７０	９７	５４９	５２．７
研修室２	１７５	２６６	９７	５３８	５１．７
研修室３	２７１	２９８	１４８	７１７	６８．９
研修室４	２２４	２８１	１１３	６１８	５９．４
集会室	２０７	２８８	１４０	６３５	６１．０
和室	２１８	２２１	１１６	５５５	５３．３
大研修室	２２７	２８６	１４７	６６０	６３．４
保育室	１３６	１１８	３７	２９１	２８．０
作業室	１１９	１３２	１９	２７０	２５．９
日常生活訓練室	１２４	１１３	３６	２７３	２６．２
合　　計	１，８８３	２，２７３	９５０	５，１０６	４９．０

＊利用率＝利用回数／（開館日数（３４７）×３）×１００

イ）無料室　（単位：件）

室　　名	午　前	午　後	夜　間	合　計	利用率(%)
ミーティングルーム１	２５２	３０１	２４０	７９３	７６．２
ミーティングルーム２	２４５	２９６	２４０	７８１	７５．０
ミーティングルーム３	２６１	２９１	８８	６４０	６１．５
福祉団体共用ルーム	２４２	２６９	１５９	６７０	６４．４
福祉情報製作室	１９２	１２５	５０	３６７	３５．３
録音室	１１８	５７	２	１７７	１７．０
合　　計	１，３１０	１，３３９	７７９	３，４２８	５４．９

＊利用率＝利用回数／（開館日数（３４７）×３）×１００

ウ）施設見学受入状況　（単位：件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件　数	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	1	0	7
人　数	0	0	0	0	0	55	412	0	0	97	63	0	６２７

エ）登録団体の状況

登録団体数	１４３団体

内、障害者団体　７５団体、ボランティア団体　６１団体、その他団体　７団体（法人団体等）

オ）温水プール事業

a）開館日数　（単位：日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	25	26	24	25	25	25	26	24	24	23	22	25	294

b)利用者の状況　（単位:人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
大 人	1425	1655	1709	2221	2379	1879	1475	1155	1063	1158	1094	1242	18,455
子ども	263	368	464	886	992	369	222	168	137	172	197	238	4,476
高齢者	1376	1340	1341	1606	1663	1672	1512	1367	1087	1209	1168	1388	16,729
障害者	1491	1545	1701	2024	2410	2272	1828	1491	1325	1351	1302	1652	20,392
合 計	4555	4908	5215	6737	7444	6192	5037	4181	3612	3890	3761	4520	60,052

c）利用者別利用率

	大 人	子 ど も	高 齢 者	障 害 者	合 計
人 数（人）	１８，４５５	４，４７６	１６，７２９	２０，３９２	６０，０５２
利用率（%）	３０．７	７．５	２７．８	３４．０	１００

d）水泳教室開催状況

教 室	開 催 日 程	開催日数	参加者延べ人数
障害者のための初心者水泳教室	５月１９日～ ６月３０日	７日	７７組１１６人
	９月 ８日～１０月２０日	７日	８３組１２９人
	１１月１０日～１２月２２日	７日	７５組１１３人
	１月１９日～ ３月 ２日	７日	８２組１３１人
障害者のための親子水泳教室（幼児）	５月２１日～ ７月 ２日	７日	９３組１８６人
	９月１０日～１０月２２日	７日	７８組１５６人
	１１月 ５日～１２月１７日	７日	６０組１２０人
	１月１４日～ ３月 ４日	７日	７０組１４０人
障害者のための親子水泳教室（小・中・高校生）	５月２２日～ ７月 ３日	７日	９５組１９０人
	９月 ４日～１０月１６日	７日	１００組２００人
	１０月３０日～１２月１１日	７日	９８組１９６人
	１月１５日～ ２月２６日	７日	１０４組２０８人
高齢者のための初心者水泳教室	５月１９日～ ６月３０日	７日	１１７人
	９月 ８日～１０月２０日	７日	１２３人
	１１月１０日～１２月２２日	７日	１２４人
中高齢者ための中級水泳教室（クロール・背泳ぎ）	９月 ８日～１０月２０日	７日	１３２人
	１月１７日～ ３月 ７日	７日	１０２人
一般水泳教室（初級・クロール）	５月１７日～ ６月２８日	７日	１３５人
中高齢者アクアウォーキング教室	５月２０日～ ７月 １日	７日	１８０人
	９月 ９日～１０月２８日	７日	１８２人
	１１月 ４日～１２月１６日	７日	１８４人
	１月２０日～ ３月 ３日	７日	１９９人

中高齢者 水中体操教室	５月２０日～　７月　１日	７日	１４４人
	１１月　４日～１２月１６日	７日	１６９人
	１月２０日～　３月　３日	７日	１９６人
合　計		１６８日	３，７４０人

③福祉図書コーナーの運営

ラポールひらかた４階の福祉図書コーナーに、福祉関係図書約４，５４６冊、ビデオ約１，００３本、ＤＶＤ５１本その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。

また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

＊開所日時　　月曜日～日曜日（第２日曜日、年末年始は休室）　午前９時～午後５時３０分

＊現在登録者数　　３，２２１人

＊点字の木キャンペーン(通年)

＊わいわいがやがやしゃべろう会（4／15、6／15、10／15、11／13、1／15、3／15）

＊わいわいがやがや手話の歌（5／15、7／15、9／15、11／13、2／15）

＊第１３回ラポールふくしフェスティバル（11／13）

＊啓発事業
＊手話入門教室
＊点字に触れてみよう
（各種事業の開催　ラポール福祉講座で掲載）

＊コーナー利用状況

開所日数	来所者数
３４７日	１４，７９７人

＊ライブラリー利用状況

登録者数（新規）	書籍貸出数	ビデオＤＶＤ貸出数
２２４人	２，４４５冊	８７６本

＊相談利用状況（４月１日～翌年３月３１日）

来所相談件数	電話相談	相談総数
３５８件	４３件	４０１件

④車いす貸し出し状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合　計
貸出台数（台）	45	43	60	33	25	38	144	152	79	36	25	25	705
貸出件数（件）	43	36	43	32	21	37	46	59	38	25	63	53	496

＊車いす総保有台数　３６（自走車３０台、介助車６）

⑤各種相談事業の開催

＊ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

・相談日時　　毎週月曜日　午後１時～４時　　・相談員（福祉相談員）　　１人

・開設日数　　４５日　　・相談件数　１８件

会館相談

・相談日時　　月曜日から金曜日　午前９時から午後５時３０分　　・相 談 員（会館職員）

・開設日数　　２４２日　　・相談件数　８０件

＊福祉人権相談

障害者や認知症高齢者など意思能力にハンディのある人の人権侵害や権利擁護に関する悩み、財産管理、相続等について、弁護士が面接相談に応じた。

・相談日時　　毎月第２木曜日　午後１時～４時（相談受付は相談日の午前１０時から先着３人まで）

・相 談 員　　弁護士　　・開設日数　１２日　　・相談件数　１０件
※平成２２年度で福祉人権相談は終了

＊心の健康相談
心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理担当者が面接相談に応じた。
・相談日時　　毎週金曜日　午後１時～４時　　・相談員　臨床心理担当者　　２人
・開設日数　　５１日　　・相談件数　　８５件

＊ピアカウンセリング
障害のある人やその家族の思いや心配ごとについて、障害者の立場に立って相談に応じた。
・相談日時　　毎月第１・３水曜日　午後１時～４時　・場　所　ラポールひらかた相談室
・相談員　　(障害者生活支援センター　ピアカウンセラー)
・開設日数　　２２日　　・相談件数　　１６件

＊父子家庭相談員設置事業
父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相　談　内　容
８人	１５件	・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

＊要介護老人家族の相談員設置事業
寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相　談　内　容
１２人	６２３件	・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥第１３回ラポールふくしフェスティバル
ラポールひらかたを市民に広く啓発するとともに、各種イベントを通して福祉活動への関心を高めることを目的に開催した。
(日　時)　　平成２２年１１月１３日（土）　午前１０時～午後３時３０分
(場　所)　　ラポールひらかた（枚方市立総合福祉会館）
(主　催)　　枚方市、社会福祉法人枚方市社会福祉協議会、パナソニック電工労働組合本社総合支部、パナソニックＡＶＣネットワークス労働組合
(協　力)　　枚方市ボランティアグループ連絡会、枚方市内のボランティアの皆さん、枚方市福祉団体連絡会、枚方市地域共同作業所連絡会、社会福祉法人四天王寺福祉事業団
(来場者)　　約３，０００人
(内　容)

催　し　名	内　　容
イベント	開会式・赤外線補聴器システム贈呈式、こども映画会　「ホートン」
フリーマーケット	衣服、雑貨、かばん、手作り作品等の販売
ちょっとお立ち台	楽器演奏、マジック、オカリナ・歌体操、とれぶりんか劇団　等
館内企画	スタンプラリー、すごろく、ダーツ、自助具の展示・製作相談、手作りおもちゃ作り、字幕製作、栄養相談、野菜クイズ、古切手でアート、手話体験、点字教室、パネル展示、ふしぎ絵、おもしろ理科教室、災害時支援講習　など

福祉図書コーナー	わいわいがやがや手話の歌、点字ミニ体験
福祉用具展示コーナー	福祉用具の展示、体験、相談
作品展	デイサービス利用者作品展
もちつき大会	もちつき体験・販売
模擬店・バザー	焼そば・フランクフルト・ジュース・綿菓子・クッキー・マドレーヌ・ポップコーン・チヂミ・焼き鳥・手作り作品販売など

⑦各種事業の開催

＊ラポール福祉講座

月　日	内　　容	参加者数
8／27	◎子育て応援講座（わくわく教室・全５回）	
	子どもと遊ぼう！①（手遊び） 講　師：保育士　　徳井　ノブ子　氏　　吉岡　淑子　氏	２８人
9／3	子どもと遊ぼう！②（読み聞かせ） 講　師：保育士　　徳井　ノブ子　氏　　吉岡　淑子　氏	２８人
9／10	プチ勉強会「食育について」 講　師：栄養アドバイザー「萌」　　濱上　和代　氏　他	２４人
9／17	調理実習「野菜メニュー」 講　師：栄養アドバイザー「萌」　　濱上　和代　氏　他	２２人
9／24	座談会 講　師：保育士　　徳井　ノブ子　氏	２６人
11／9 ～ 12／14	◎手話入門教室（全５回） 入門編　「手話について学ぶ」 講　師：手話サークル「昼柿」	９３人
11／26	◎生き行き講座（全５回）	
	「みんなで楽しくやってみよう！」～歌・体操など～ 講　師：いきいき歌体操ＨＡＮＤ　　吉岡　京子　氏　他	１４人
12／2	「絵手紙に挑戦」 講　師：三嶋　保美　氏	１５人
12／9	「古典を楽しむ」～懐かしい文学に思いをはせてみませんか　平家物語～ 講　師：元国語科教諭　　阪本　幸子氏	１５人
12／16	「脳の老化を予防する食生活」 講　師：食生活改善協議会　　代表　田畑　卿子　氏	１５人
12／22	「脳を活性化するメニューと調理実習」 講　師：食生活改善協議会	１６人

（福祉図書コーナー啓発事業）

10／6	福祉ミニ教室「白杖、高齢者疑似体験グッツを利用、身近に体験」 講　師：図書コーナースタッフ	１３人
3／1	福祉ミニ教室「手話であいさつしてみよう　①」 講　師：図書コーナースタッフ	１２人
3／8	福祉ミニ教室「手話であいさつしてみよう　②」 講　師：図書コーナースタッフ	８人

＊ラポール市民講座

月　日	内　　容	参加者数
5/11～6/29	太極拳教室　　８回（夜間） 講師：大阪武術太極拳連盟　普及指導員　　松井　治三郎　氏	１１６人
6/8～7/27	ヨガ連続講座　　８回（夜間） 講　師：ＮＰＯ法人日本ＹＯＧＡ連盟　　山口　洋博子　氏	１４０人
8/25～8/27	夏休み子どもスポーツチャレンジ教室（水泳教室） 講師：インストラクター　　康本　貞恵　氏　・　木下　容子　氏	４４人
9/8～10/27	ヨガ連続講座　　８回 講　師：ＮＰＯ法人日本ＹＯＧＡ連盟　　山口　洋博子　氏	１３９人
10/6～12/8	太極拳教室　　８回 講師：大阪武術太極拳連盟　普及指導員　　松井　治三郎　氏	１７１人
3/25～3/27	春休み子どもスポーツチャレンジ教室 講　師：インストラクター　　康本　貞恵　氏　・　木下　容子　氏	５６人

・プール教室

２０年度より、市民講座の位置づけとして体力向上、健康増進を目的とした教室と、介助者なしでグループ練習形態指導を行う事により社会性などの向上、社会的な自立を目指した障害児水泳教室を開催。

２２年度は、下記の教室を開催。

教　室	開　催　日　程	開催日数	参加者延べ人数
アクアビクス教室	４月　８日～　５月２７日	７日	１７６人
	６月　３日～　７月１５日	７日	１８４人
	９月　９日～１０月２８日	７日	１７６人
	１１月　４日～１２月１７日	７日	１６９人
	１月２０日～　３月　３日	７日	１９５人
障害児水泳教室 （小学生低学年）	４月　７日～　５月２６日	７日	７２人
	６月　２日～　７月１４日	７日	７４人
	９月　８日～１０月２０日	７日	７４人
	１１月１０日～１２月２２日	７日	７３人
	１月１９日～　３月　２日	７日	６８人
障害児水泳教室 （小学生高学年）	４月　９日～　５月２１日	７日	９０人
	６月　４日～　７月１６日	７日	９３人
	９月１０日～１０月２２日	７日	８６人
	１１月　５日～１２月１７日	７日	９２人
	１月１４日～　３月　４日	７日	８４人
障害児・者水泳教室 （中学生以上）	４月　７日～　５月２６日	７日	８５人
	６月　２日～　７月１４日	７日	８３人
	９月　８日～１０月２０日	７日	７６人
	１１月１０日～１２月２２日	７日	７５人
	１月１９日～　３月　２日	７日	７１人
中高齢者 初級水泳教室	６月　４日～　７月１６日	７日	９４人
	９月１０日～１０月２２日	７日	８０人
リフレッシュ講座	４月　７日～　５月１２日	６日	１４７人
	７月２２日～　７月２９日	２日	１１１人
	３月１０日～　３月２４日	３日	１５７人

＊ボランティアセンターとの共催事業（ボランティア活動推進事業で記載）
＊ラポールいこいのミニライブ開催状況
グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。
開催状況

月	回数	内　　容
4	5	トーンチャイム演奏・ハーモニカ演奏・アルビオーネ演奏・弾き語り（ソプラノ）等
5	3	ハーモニカ演奏・口笛演奏・ハワイアン演奏とフラダンス
6	5	フォークソングの弾き語り・ハーモニカ演奏・津軽三味線演奏・フォークソングライブ等
7	4	マジックショー・ヘルマンハープ演奏・アルビオーネ演奏・新舞踊
8	4	バンド演奏&フォークギター弾き語り・ギター演奏・ハーモニカ演奏・女声コーラス
9	5	口笛演奏・津軽三味線演奏・民謡盆踊りライブ・アルビオーネ演奏・女声コーラス
１０	4	ハーモニカとキーボード合奏・ハーモニカ演奏・フォークソングの弾き語り等
１１	3	津軽三味線演奏・ハワイアン演奏とフラダンス・アルビオーネ演奏
１２	4	キーボード弾き語り・ハーモニカ演奏・コーラス・フォークソングの弾き語り
1	3	サックスフォーン演奏・キーボード弾き語り・ギター弾き語り
2	3	ハーモニカ演奏・アルビオーネ演奏・津軽三味線と二胡の演奏
3	5	フォークソングの弾き語り・キーボード弾き語り・ギターマンドリン演奏・絵本よみかたり等

会場は１階正面玄関エレベター前で開催。８月のバンド演奏、９月の民謡盆踊りライブは、円形広場で開催。

⑧研修事業の実施
職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

月　日	内　　容	参加者数
6／28	サービスマナー・人権研修会（アサーショントレーニング）	５１人
9／30	ＡＥＤ講習会（ＮＡＬＣ「天の川クラブ」主催）	４人
12／12	温水プールスタッフ研修会（救急救命法）	２０人